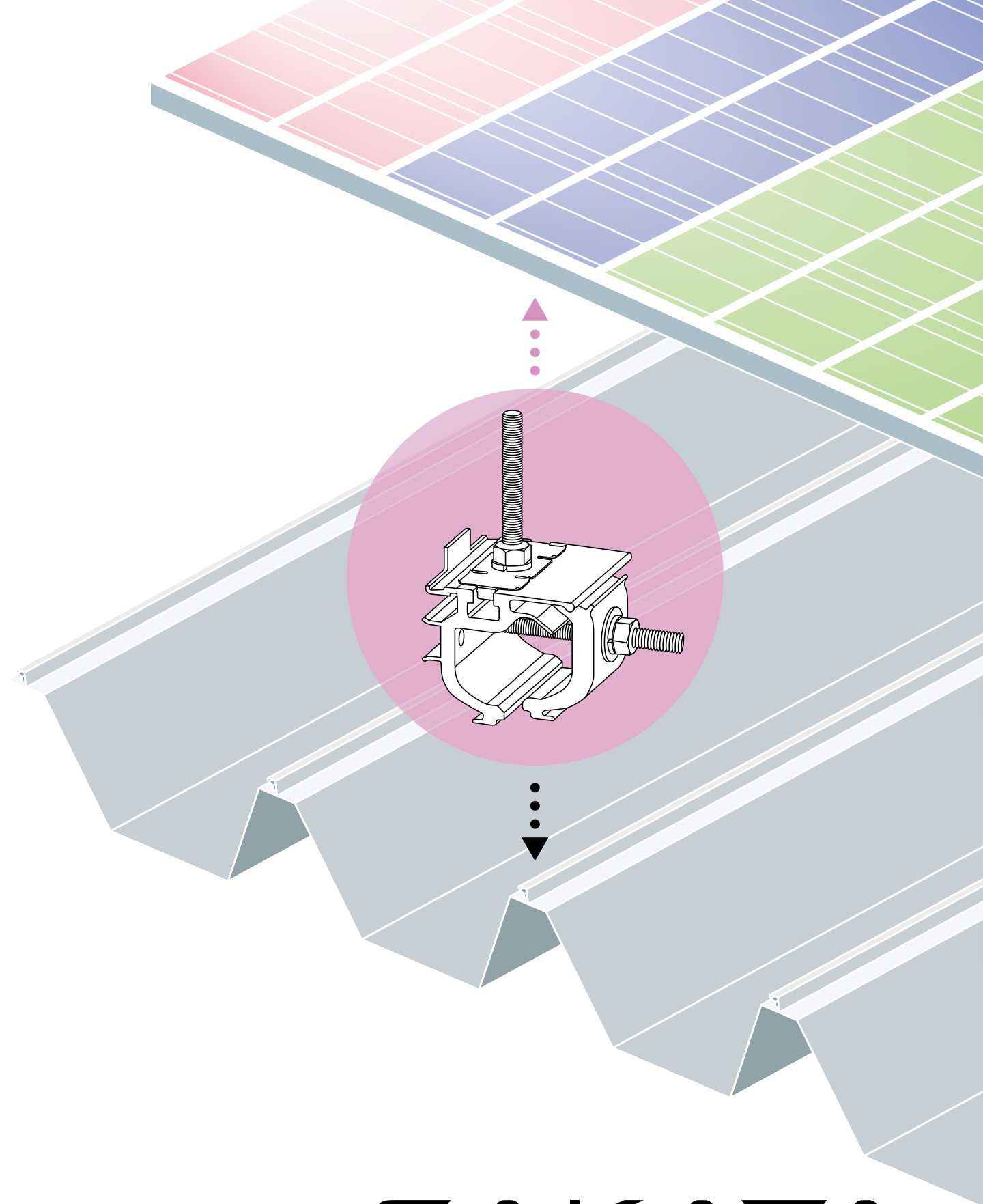




サカタ製作所 ホームページ
<https://www.sakata-s.co.jp>



SAKATA



SAKATA

サ カ タ 製 作 所

ソーラーパネル 取付金具・架台カタログ

Vol.9

株式会社 サカタ製作所

東京支店

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1丁目28番地 VORT神田Ⅲ3階
TEL.03-5296-8686 FAX.03-5297-8055

3F VORT KANDA Ⅲ,1-28 KANDASUDACHO,
CHIYODA-KU,TOKYO-TO.,101-0041 JAPAN

大阪営業所

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島5丁目11番10号 第三中島ビル4階
TEL.06-6307-0050 FAX.06-6307-0110

4F DAISAN NAKAJIMA-BLDG,5-11-10 NISHINAKAJIMA YODOGAWA-KU,
OSAKA-SHI,OSAKA-FU.,532-0011 JAPAN

○本カタログの著作権は株式会社サカタ製作所の所有するものです。

無断で転用することは法律によって禁じられています。

○製品改良等で仕様は予告なしに変更する場合があります。

発行：2025年11月

屋根も太陽光も支えるのは サカタ製作所です

サカタ製作所は金属屋根を支える部品に特化した専門メーカーとして、全国から多くの支持をいただき、長きにわたり国内トップシェアを誇っております。そして、現在成長が著しい再生可能エネルギー（太陽光発電）の分野においても、金属屋根のノウハウを活かし、ソーラーパネル取付金具の国内トップクラスメーカーとして、新たな提案と技術革新により、持続可能な社会の実現のために貢献していきます。

サカタが選ばれる理由



屋根部品のトップメーカー

金属折板屋根を支える部品（タイトフレームや面戸）に特化したメーカーとして、国内市場を牽引しています。



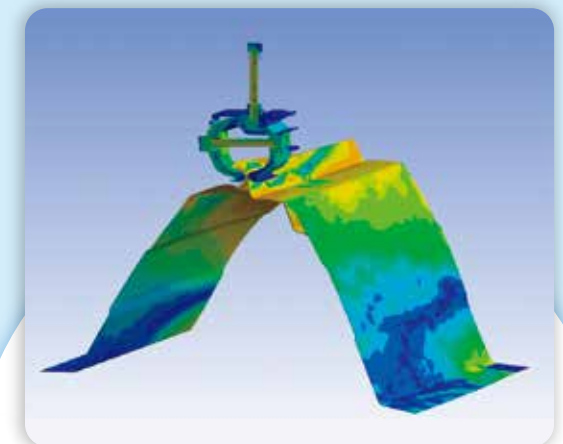
充実した試験データ

実際の屋根を用いた金具試験データに基づき、JIS C 8955:2017に準拠した強度検討をおこなっています。



高い技術開発力

実証・実験に裏付けられた品質を追求し、製品開発をおこなっています。



品質管理・3D解析

寿命の長い太陽光パネルを保持できるよう徹底した品質管理はもちろん、3D解析など各種試験を実施し、長期信頼性の高い製品を提供いたします。

だから **SAKATA** が選ばれています。

ハゼ式折板

金属板の接合部を折り曲げ、かみ合わせた馳（ハゼ）と呼ばれる部分がついた屋根です。

ハゼA (角ハゼ)

ハゼB (丸ハゼ<片丸>)

ハゼB (丸ハゼ<両丸>)

アルミタイプ・・・P.4

高強度タイプ・・・P.6

立平葺

金属板を立ち上げて馳を設け、馳締めした屋根です。馳締めの代わりにキャップを用いたものもあります。(立ハゼ葺とも呼称します。)

立平葺A (巻きハゼ)

立平葺A (嵌合式)

立平葺B

立平葺(B)・・・P.8

立平葺(A)・・・P.10

高強度タイプ・・・P.10

重ね式折板・PX/PR (PW) /ID Panel

折板本体をタイトフレームの剣先ボルトで貫通し、ナット等で締め付けた屋根です。タイトフレームの剣先ボルトが屋根上に突き出ているのが特長です。

重ね式

PX/PR (PW) Panel

ID Panel

重ね式折板・・・P.12

嵌合式折板・ハゼ嵌合式

金属屋根材を2枚重ね、嵌合した屋根です。

BL500

BL600

ハゼ嵌合式 A

スーパールーフ66

ハゼ嵌合式 G6

嵌合式 G7

BL500・・・P.14

BL600・・・P.14

ハゼ嵌合式 A・・・P.14

スーパールーフ66・・・P.15

ハゼ嵌合式 G6・・・P.15

嵌合式 G7・・・P.15

日輪折板馳2型・ハゼ式D

金属板の接合部を折り曲げ、かみ合わせた馳（ハゼ）と呼ばれる部分がついた屋根です。

山ピッチ：500mm
日輪折板馳2型

V-500

V-600 (ハゼ部)

日輪折板馳2型・・・P.16

ハゼ式D・・・P.16

瓦棒葺

瓦棒と呼ばれる棧が、屋根の傾斜に沿って並んでいるのが特長です。(棧の上には金属板がかぶせてあります。)

三晃式 (巾33・35mm)

瓦棒400 (角型)

瓦棒400 (丸型)

丸ハゼ式瓦棒葺 (巾35mm)

林式瓦棒葺 (巾45・55mm)

三晃式・・・P.17

瓦棒400・・・P.17

丸ハゼ式・・・P.18

林式45・・・P.18

林式55・・・P.18

ラック工法

ソーラーパネルと屋根の間にラック材を入れて取り付ける工法。屋根に新たに穴を開けず設置可能です。

ラック工法・・・P.20

特注架台 ... P.26

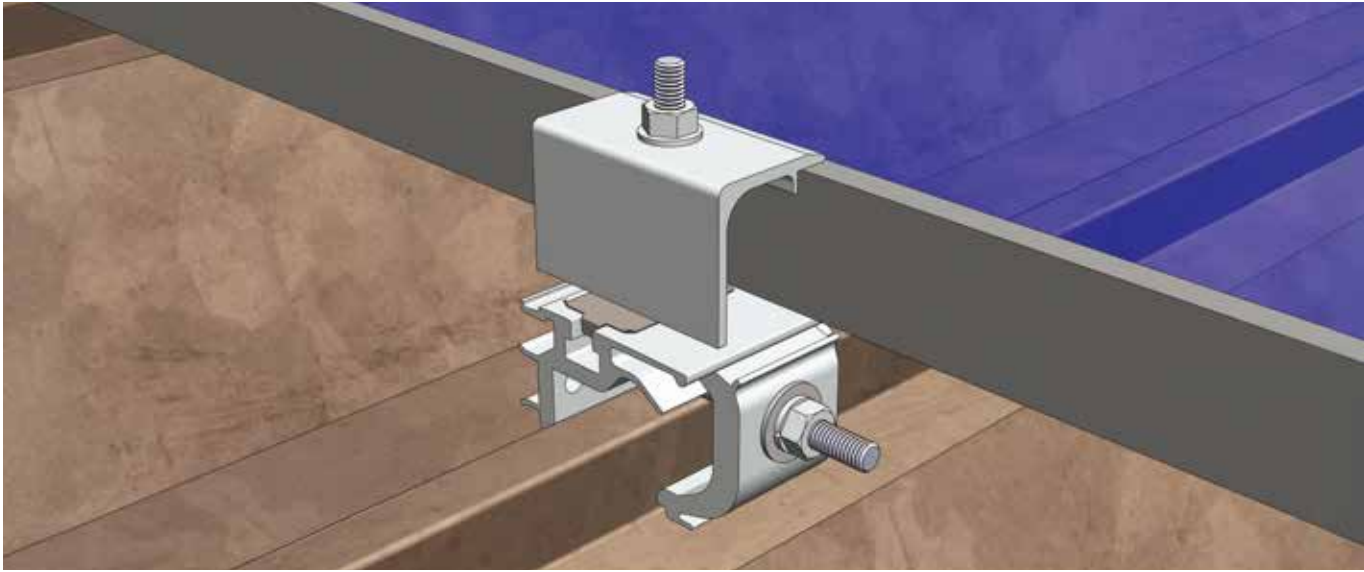
設置高さ、環境に応じて独自の設計技術で敷地条件に最適な強度の架台を提供いたします。

関連商品 ... P.28

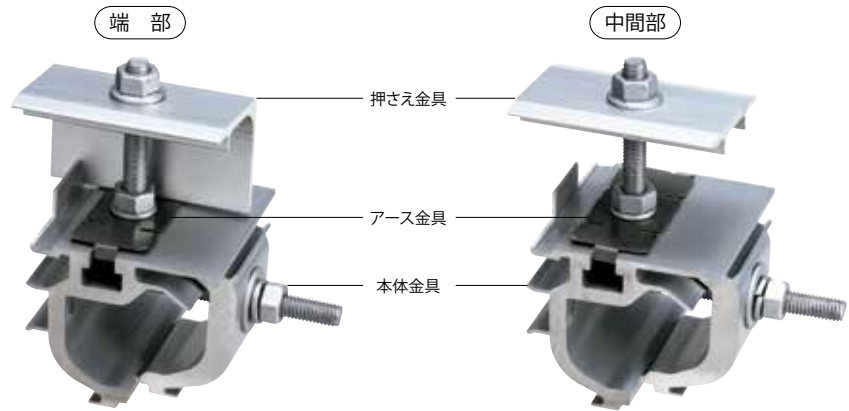
おすすめ製品・全工法共通事項・ご使用上の注意

ソーラーパネルが受けた雨水は、金属屋根に流水します。流水部分は環境影響等でめっきの減少が促進される場合があり、さび発生の恐れがありますのでご注意ください。

ハゼ式屋根／ハゼ式A/B(角/丸)屋根 アルミタイプ

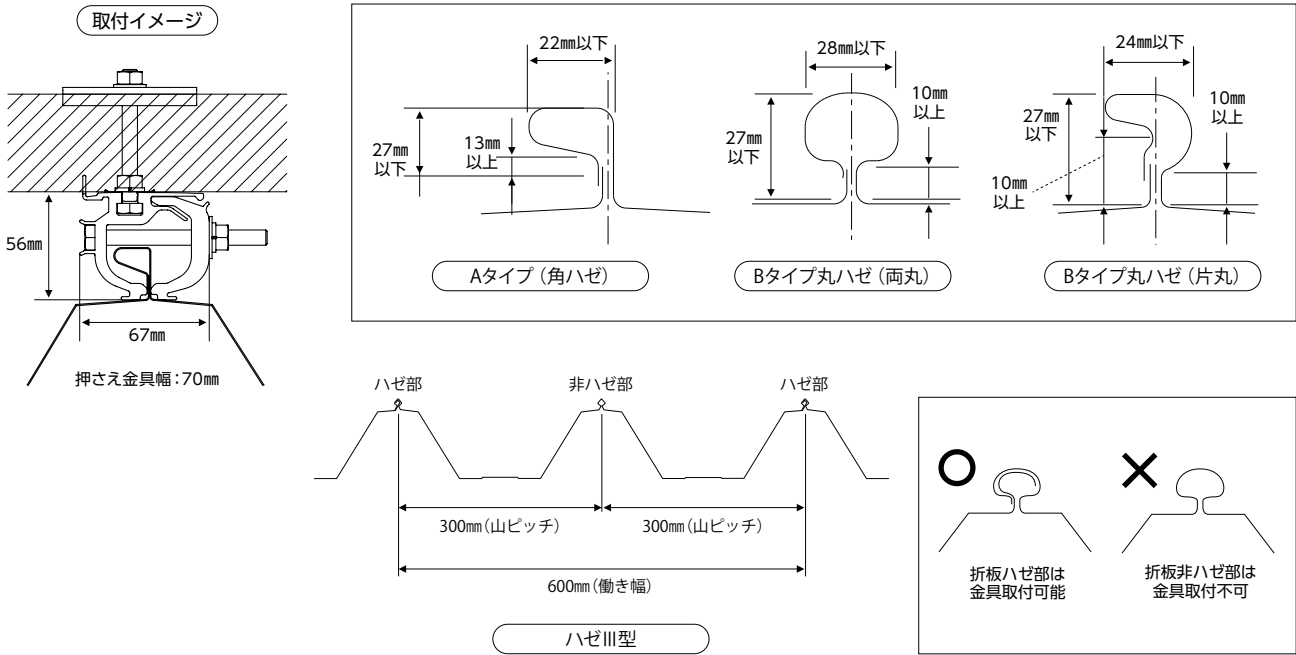


製品外観



※アース金具は本体金具に組み込まれています

適合屋根形状



ソーラーパネルサイズ **2.25㎡/台** 以下

■設置条件

設計基準		JIS C 8955:2017に準拠します
離隔条件	設置 (傾斜) 角度 (屋根勾配)	レイアウトは屋根端部(屋根同士の境界含む)から必要な離隔(屋根端から各々辺長の10%、ただし2mを超える場合は2mとする)を確保
	0° 以上10° 未満	
屋根材		角ハゼ・丸ハゼ折板
ソーラー金具		ハゼ式A/B AL3 ソーラー金具 NF (適合前提)
設置 (傾斜) 角度 (屋根勾配)		0° 以上、10° 未満
設置高さ (アレイ最頂部) H		40【m】以下
ソーラーパネル	面積【㎡】	2.25【㎡】
	重量【kg】	20～35【kg】
	タイプ	NFタイプ
	1長辺当たりの固定点数	右表参照
	設置向き	横置
風圧荷重	設計用基準風速 Vo	40【m/s】以下
	地表面粗度区分	III or IV、II
	用途係数 lw	1.0 (通常の太陽光発電システム)
積雪荷重	地上垂直積雪量 Zs	99【cm】以下
	雪の平均単位荷重 P	20【N/㎡・cm】以下 (一般の地方)
地震荷重	各部に生じる水平震度 KH	1.0 (耐震クラスB)
	地震地域係数 Z	1.2

※「勾配・地上垂直積雪量」と「設計用基準風速・設置高さ」を比較し、多い方が設置可能な固定点数の条件となります。
※表中の設置条件以外でも設置可能な場合がございますので、別途お問合せください。

■勾配・地上垂直積雪量に対する固定点数

勾配屋根設置：アレイ面 (屋根面)		垂直積雪量ZS[cm]					
屋根勾配 (寸)	設置 (傾斜) 角度	50 以下	60 以下	70 以下	80 以下	90 以下	99 以下
0.0～0.5	0.0°～2.86°						
～1.0	～5.71°						
～1.5	～8.53°						
～9.99°	～9.99°						

■：2点固定
■：3点固定
■：4点固定
■：5点固定
■：別途お問合せください

■設計用基準風速・設置高さに対する固定点数

【地表面粗度区分Ⅲ又はⅣ】		【地表面粗度区分Ⅱ】					
		設置 (屋根) 高さ (アレイ面の平均地上高) H【m】					
設計用基準風速 Vo【m/s】		10 以下	16 以下	19 以下	25 以下	34 以下	40 以下
32以下							
34以下							
36以下							
38以下							
40以下							

		設置 (屋根) 高さ (アレイ面の平均地上高) H【m】					
設計用基準風速 Vo【m/s】		10 以下	16 以下	19 以下	25 以下	34 以下	40 以下
32以下							
34以下							
36以下							
38以下							
40以下							

ソーラーパネルサイズ **2.8㎡/台** 以下

■設置条件

設計基準		JIS C 8955:2017に準拠します
離隔条件	設置 (傾斜) 角度 (屋根勾配)	レイアウトは屋根端部(屋根同士の境界含む)から必要な離隔(屋根端から各々辺長の10%、ただし2mを超える場合は2mとする)を確保
	0° 以上10° 未満	
屋根材		角ハゼ・丸ハゼ折板
ソーラー金具		ハゼ式A/B AL3 ソーラー金具 NF (適合前提)
設置 (傾斜) 角度 (屋根勾配)		0° 以上、10° 未満
設置高さ (アレイ最頂部) H		40【m】以下
ソーラーパネル	面積【㎡】	2.8【㎡】
	重量【kg】	20～35【kg】
	タイプ	NFタイプ
	1長辺当たりの固定点数	右表参照
	設置向き	横置
風圧荷重	設計用基準風速 Vo	40【m/s】以下
	地表面粗度区分	III or IV、II
	用途係数 lw	1.0 (通常の太陽光発電システム)
積雪荷重	地上垂直積雪量 Zs	99【cm】以下
	雪の平均単位荷重 P	20【N/㎡・cm】以下 (一般の地方)
地震荷重	各部に生じる水平震度 KH	1.0 (耐震クラスB)
	地震地域係数 Z	1.2

※「勾配・地上垂直積雪量」と「設計用基準風速・設置高さ」を比較し、多い方が設置可能な固定点数の条件となります。
※表中の設置条件以外でも設置可能な場合がございますので、別途お問合せください。

■勾配・地上垂直積雪量に対する固定点数

勾配屋根設置：アレイ面 (屋根面)		垂直積雪量ZS[cm]					
屋根勾配 (寸)	設置 (傾斜) 角度	50 以下	60 以下	70 以下	80 以下	90 以下	99 以下
0.0～0.5	0.0°～2.86°						
～1.0	～5.71°						
～1.5	～8.53°						
～9.99°	～9.99°						

■：2点固定
■：3点固定
■：4点固定
■：5点固定
■：別途お問合せください

■設計用基準風速・設置高さに対する固定点数

【地表面粗度区分Ⅲ又はⅣ】		【地表面粗度区分Ⅱ】					
		設置 (屋根) 高さ (アレイ面の平均地上高) H【m】					
設計用基準風速 Vo【m/s】		10 以下	16 以下	19 以下	25 以下	34 以下	40 以下
32以下							
34以下							
36以下							
38以下							
40以下							

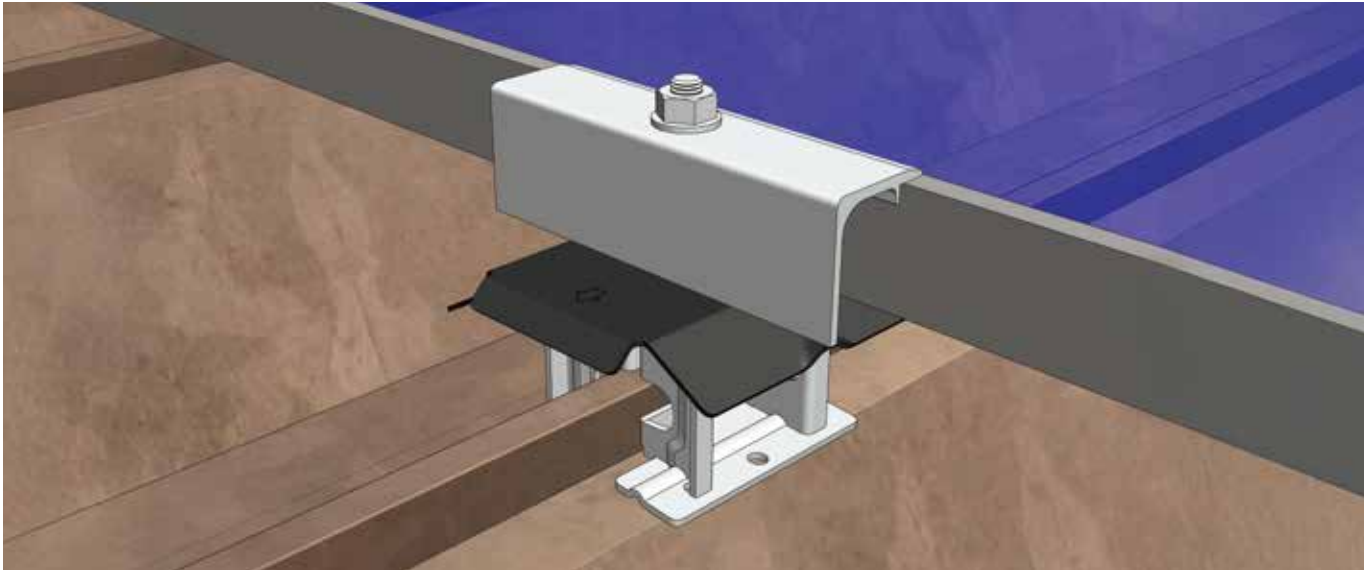
		設置 (屋根) 高さ (アレイ面の平均地上高) H【m】					
設計用基準風速 Vo【m/s】		10 以下	16 以下	19 以下	25 以下	34 以下	40 以下
32以下							
34以下							
36以下							
38以下							
40以下							

製品コード・重量・入数

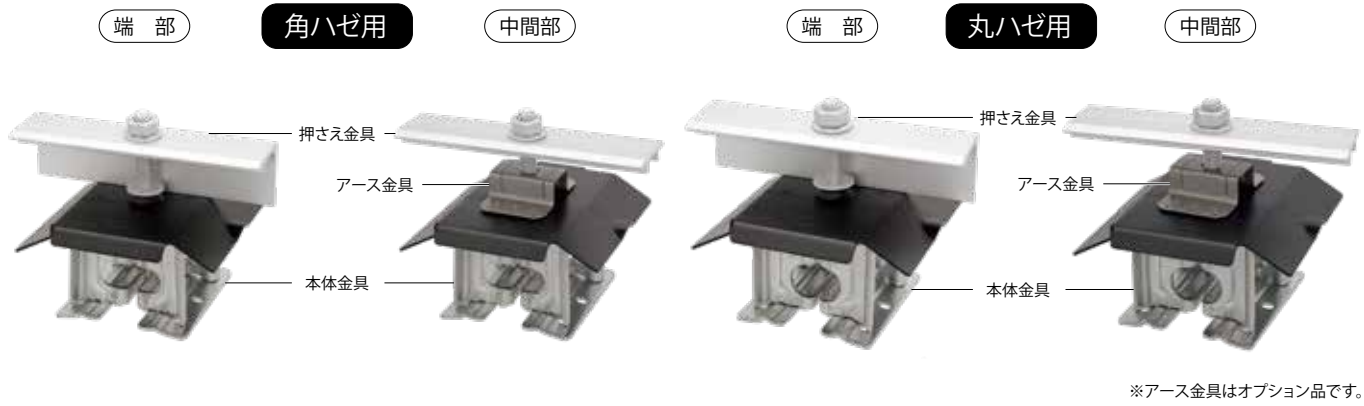
パネル取付部 断面タイプ	パネル高さ	タイプ	金具取付場所	製品コード	重量 (kg)	本体入数
NF	30mm (H30)	アルミ	中間部	SA5WH05R2	0.33	40
			端 部	SA5WH05Q3	0.36	40
	32mm (H32)	アルミ	中間部	SA5WH05R2	0.33	40
			端 部	SA5WH05J3	0.36	40
	34～37mm (H37)	アルミ	中間部	SA5WH05R2	0.33	40
			端 部	SA5WH05I3	0.36	40
	39～42mm (H40)	アルミ	中間部	SA5WH05S2	0.33	40
			端 部	SA5WH05Z3	0.36	40
	44.5～47.5mm (H47)	アルミ	中間部	SA5WH05S2	0.33	40
			端 部	SA5WH05Z3	0.36	40

製品コード欄の表記 [0] = 数字のゼロ、[O] = アルファベットのオー

ハゼ式A・B(角・丸)屋根 高強度タイプ

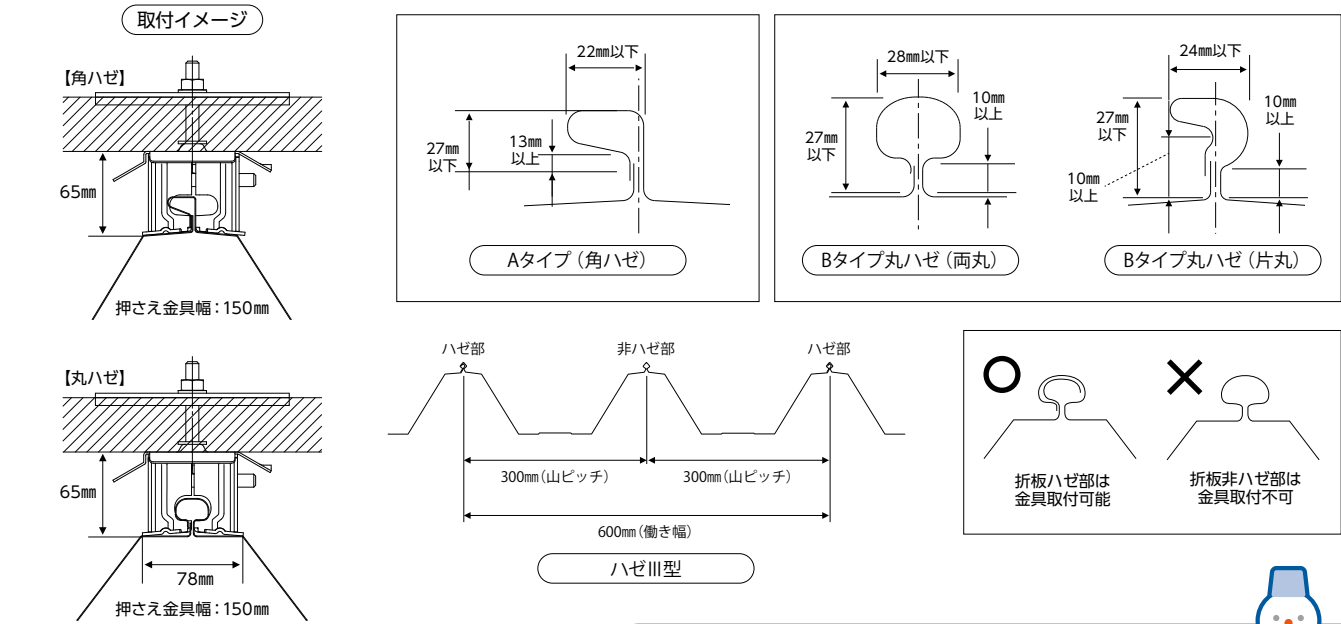


製品外観



※アース金具はオプション品です。

適合屋根形状



高強度タイプは積雪100cm以上の多雪区域に対応



ソーラーパネルサイズ 2.25㎡/台 以下

■設置条件

設計基準		JIS C 8955:2017に準拠します
隔離条件	設置(傾斜)角度(屋根勾配)	レイアウトは屋根端部(屋根同士の境界含む)から必要な離隔(屋根端から各々辺長の10%、ただし2mを超える場合は2mとする)を確保
	0°以上10°未満	
屋根材		角ハゼ・丸ハゼ折板
ソーラー金具		ハゼ式A/B 直付ソーラー金具 NF150(適合前提)
設置(傾斜)角度(屋根勾配)		0°以上、10°未満
ソーラーパネル	面積【㎡】	2.25【㎡】
	重量【kg】	20~28【kg】
	タイプ	NFタイプ
	1長辺当たりの固定点数	右表参照
	設置向き	横置
積雪荷重	地上垂直積雪量 Zs	200【cm】以下
	雪の平均単位荷重 P	30【N/㎡・cm】以下(多雪地域)
地震荷重	各部に生じる水平震度 KH	1.0(耐震クラスB)
	地震地域係数 Z	1.0

※表中の設置条件以外でも設置可能な場合がございますので、別途お問合せください。

■勾配・地上垂直積雪量に対する固定点数

勾配屋根設置: アレイ面(屋根面)		垂直積雪量ZS[cm]										
屋根勾配 (寸)	設置(傾斜) 角度	100 以下	110 以下	120 以下	130 以下	140 以下	150 以下	160 以下	170 以下	180 以下	190 以下	200 以下
0.0~0.5	0.0°~2.86°											
~1.0	~5.71°											
~1.5	~8.53°											
	~9.99°											

■：2点固定 ■：3点固定 ■：4点固定 ■：5点固定 ■：別途お問合せください

ソーラーパネルサイズ 2.8㎡/台 以下

■設置条件

設計基準		JIS C 8955:2017に準拠します
隔離条件	設置(傾斜)角度(屋根勾配)	レイアウトは屋根端部(屋根同士の境界含む)から必要な離隔(屋根端から各々辺長の10%、ただし2mを超える場合は2mとする)を確保
	0°以上10°未満	
屋根材		角ハゼ・丸ハゼ折板
ソーラー金具		ハゼ式A/B 直付ソーラー金具 NF150(適合前提)
設置(傾斜)角度(屋根勾配)		0°以上、10°未満
ソーラーパネル	面積【㎡】	2.8【㎡】
	重量【kg】	20~35【kg】
	タイプ	NFタイプ
	1長辺当たりの固定点数	右表参照
	設置向き	横置
積雪荷重	地上垂直積雪量 Zs	200【cm】以下
	雪の平均単位荷重 P	30【N/㎡・cm】以下(多雪地域)
地震荷重	各部に生じる水平震度 KH	1.0(耐震クラスB)
	地震地域係数 Z	1.0

※表中の設置条件以外でも設置可能な場合がございますので、別途お問合せください。

■勾配・地上垂直積雪量に対する固定点数

勾配屋根設置: アレイ面(屋根面)		垂直積雪量ZS[cm]											
屋根勾配 (寸)	設置(傾斜) 角度	100 以下	110 以下	120 以下	130 以下	140 以下	150 以下	160 以下	170 以下	180 以下	190 以下	200 以下	
0.0~0.5	0.0°~2.86°												
~1.0	~5.71°												
~1.5	~8.53°												
	~9.99°												

■：2点固定 ■：3点固定 ■：4点固定 ■：5点固定 ■：別途お問合せください

製品コード・重量・入数

高強度タイプ ハゼA(角ハゼ)用ソーラー金具

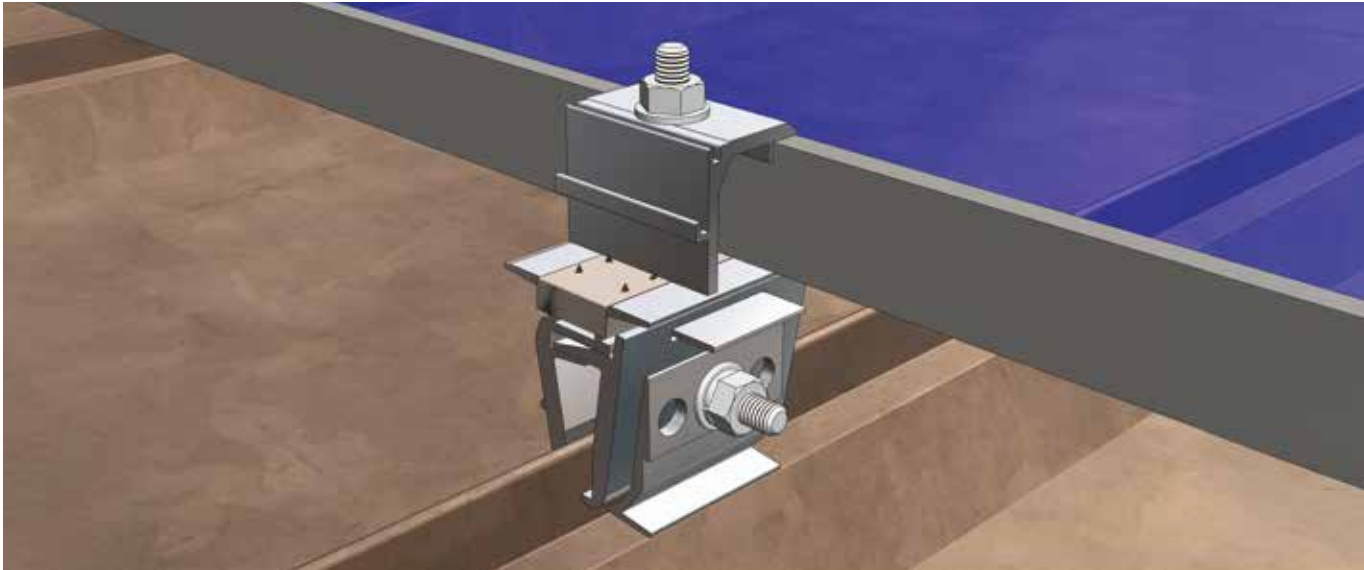
パネル取付部断面タイプ	パネル高さ	タイプ	金具取付場所	製品コード	重量(kg)	本体入数
NF	30mm(H30)	高強度	中間部	SA1A835N2	0.85	20
			端部	SA1A835L3	0.95	20
	32mm(H32)	高強度	中間部	SA1A835N2	0.85	20
			端部	コード設定中	0.95	20
	34~37mm(H37)	高強度	中間部	SA1A83572	0.85	20
			端部	SA1A83513	0.95	20
	39~42mm(H40)	高強度	中間部	SA1A83522	0.85	20
			端部	SA1A83523	0.95	20
	44.5~47.5mm(H47)	高強度	中間部	コード設定中	0.85	20
			端部	コード設定中	0.95	20

高強度タイプ ハゼB(丸ハゼ)用ソーラー金具

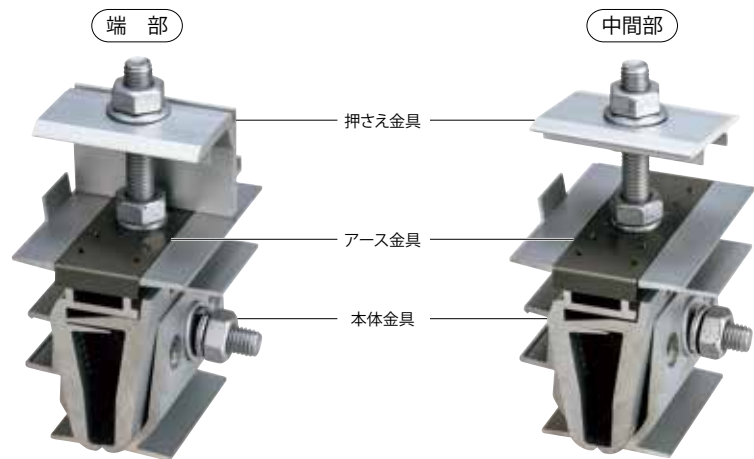
パネル取付部断面タイプ	パネル高さ	タイプ	金具取付場所	製品コード	重量(kg)	本体入数
NF	30mm(H30)	高強度	中間部	SA2A835N2	0.85	20
			端部	SA2A835L3	0.95	20
	32mm(H32)	高強度	中間部	SA2A835N2	0.85	20
			端部	コード設定中	0.95	20
	34~37mm(H37)	高強度	中間部	SA2A83572	0.85	20
			端部	SA2A83513	0.95	20
	39~42mm(H40)	高強度	中間部	SA2A83522	0.85	20
			端部	SA2A83523	0.95	20
	44.5~47.5mm(H47)	高強度	中間部	コード設定中	0.85	20
			端部	コード設定中	0.95	20

製品コード欄の表記 [0] = 数字のゼロ、[O] = アルファベットのオー

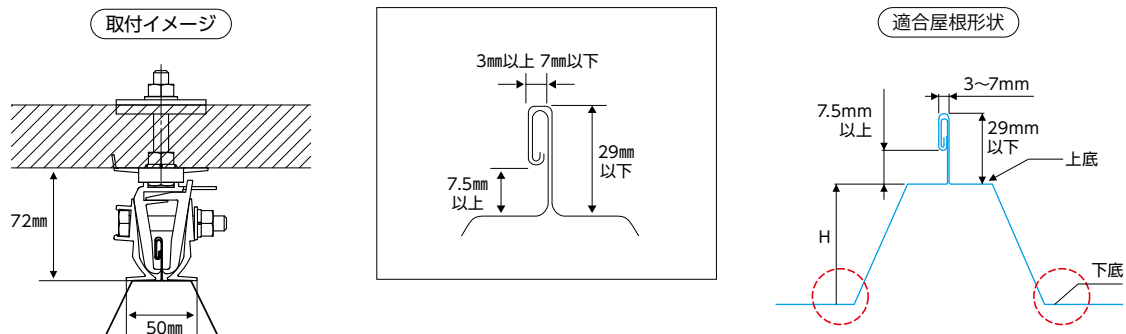
立平葺 (B) システム建築向け



製品外観



適合屋根形状



名称	折板 山ピッチ	高さ: H	左図 部形状
立平ハゼ折板S	600mm	48mm	屋根上底と下底の間に段部分がある
立平ハゼ折板K	600mm	51mm	屋根上底と下底の間に曲げ部分がある

ソーラーパネルサイズ 2.25㎡/台 以下

■設置条件

設計基準		JIS C 8955:2017に準拠します
離隔条件	設置 (傾斜) 角度 (屋根勾配)	レイアウトは屋根端部(屋根同士の境界含む)から必要な離隔(屋根端から各々辺長の10%、ただし2mを超える場合は2mとする)を確保
	0° 以上10° 未満	
屋根材		立平ハゼ折板S / 立平ハゼ折板K (山ピッチ600mm)
ソーラー金具		立平葺 AL直付ソーラー金具 NF (適合前提)
設置 (傾斜) 角度 (屋根勾配)		0° 以上、10° 未満
設置高さ (アレイ最頂部) H		40【m】以下
ソーラーパネル	面積【㎡】	2.25【㎡】
	重量【kg】	20~35【kg】
	タイプ	NFタイプ
	1長辺当たりの固定点数	右表参照
	設置向き	横置
風圧荷重	設計用基準風速 Vo	40【m/s】以下
	地表面粗度区分	III or IV、II
	用途係数 lw	1.0 (通常の太陽光発電システム)
積雪荷重	地上垂直積雪量 Zs	99【cm】以下
	雪の平均単位荷重 P	20【N/㎡・cm】以下 (一般の地方)
地震荷重	各部に生じる水平震度 KH	1.0 (耐震クラスB)
	地震地域係数 Z	1.2

※「勾配・地上垂直積雪量」と「設計用基準風速・設置高さ」を比較し、多い方が設置可能な固定点数の条件となります。
※表中の設置条件以外でも設置可能な場合がございますので、別途お問合せください。

■勾配・地上垂直積雪量に対する固定点数

勾配屋根設置: アレイ面 (屋根面)		垂直積雪量ZS[cm]					
屋根勾配 (寸)	設置 (傾斜) 角度	50 以下	60 以下	70 以下	80 以下	90 以下	99 以下
0.0~0.5	0.0° ~2.86°						
~1.0	~5.71°						
~1.5	~8.53°						
	~9.99°						

■ : 2点固定
■ : 3点固定
■ : 4点固定
■ : 5点固定
■ : 別途お問合せください

■設計用基準風速・設置高さに対する固定点数

【地表面粗度区分Ⅲ又はⅣ】		【地表面粗度区分Ⅱ】					
		設置 (屋根) 高さ (アレイ面の平均地上高) H【m】					
設計用基準風速 Vo【m/s】	10 以下	16 以下	19 以下	25 以下	34 以下	40 以下	
32以下							
34以下							
36以下							
38以下							
40以下							

		設置 (屋根) 高さ (アレイ面の平均地上高) H【m】					
設計用基準風速 Vo【m/s】	10 以下	16 以下	19 以下	25 以下	34 以下	40 以下	
32以下							
34以下							
36以下							
38以下							
40以下							

ソーラーパネルサイズ 2.8㎡/台 以下

■設置条件

設計基準		JIS C 8955:2017に準拠します
離隔条件	設置 (傾斜) 角度 (屋根勾配)	レイアウトは屋根端部(屋根同士の境界含む)から必要な離隔(屋根端から各々辺長の10%、ただし2mを超える場合は2mとする)を確保
	0° 以上10° 未満	
屋根材		立平ハゼ折板S / 立平ハゼ折板K (山ピッチ600mm)
ソーラー金具		立平葺 AL直付ソーラー金具 NF (適合前提)
設置 (傾斜) 角度 (屋根勾配)		0° 以上、10° 未満
設置高さ (アレイ最頂部) H		40【m】以下
ソーラーパネル	面積【㎡】	2.8【㎡】
	重量【kg】	20~35【kg】
	タイプ	NFタイプ
	1長辺当たりの固定点数	右表参照
	設置向き	横置
風圧荷重	設計用基準風速 Vo	40【m/s】以下
	地表面粗度区分	III or IV、II
	用途係数 lw	1.0 (通常の太陽光発電システム)
積雪荷重	地上垂直積雪量 Zs	99【cm】以下
	雪の平均単位荷重 P	20【N/㎡・cm】以下 (一般の地方)
地震荷重	各部に生じる水平震度 KH	1.0 (耐震クラスB)
	地震地域係数 Z	1.2

※「勾配・地上垂直積雪量」と「設計用基準風速・設置高さ」を比較し、多い方が設置可能な固定点数の条件となります。
※表中の設置条件以外でも設置可能な場合がございますので、別途お問合せください。

■勾配・地上垂直積雪量に対する固定点数

勾配屋根設置: アレイ面 (屋根面)		垂直積雪量ZS[cm]					
屋根勾配 (寸)	設置 (傾斜) 角度	50 以下	60 以下	70 以下	80 以下	90 以下	99 以下
0.0~0.5	0.0° ~2.86°						
~1.0	~5.71°						
~1.5	~8.53°						
	~9.99°						

■ : 2点固定
■ : 3点固定
■ : 4点固定
■ : 5点固定
■ : 別途お問合せください

■設計用基準風速・設置高さに対する固定点数

【地表面粗度区分Ⅲ又はⅣ】		【地表面粗度区分Ⅱ】					
		設置 (屋根) 高さ (アレイ面の平均地上高) H【m】					
設計用基準風速 Vo【m/s】	10 以下	16 以下	19 以下	25 以下	34 以下	40 以下	
32以下							
34以下							
36以下							
38以下							
40以下							

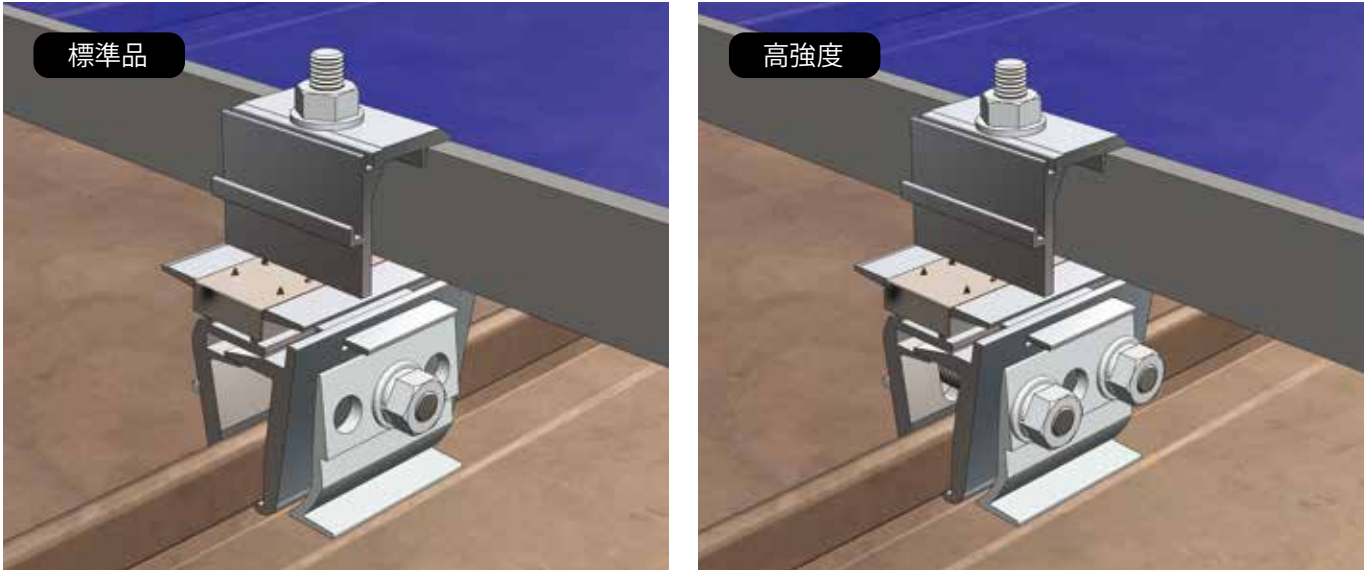
		設置 (屋根) 高さ (アレイ面の平均地上高) H【m】					
設計用基準風速 Vo【m/s】	10 以下	16 以下	19 以下	25 以下	34 以下	40 以下	
32以下							
34以下							
36以下							
38以下							
40以下							

製品コード・重量・入数

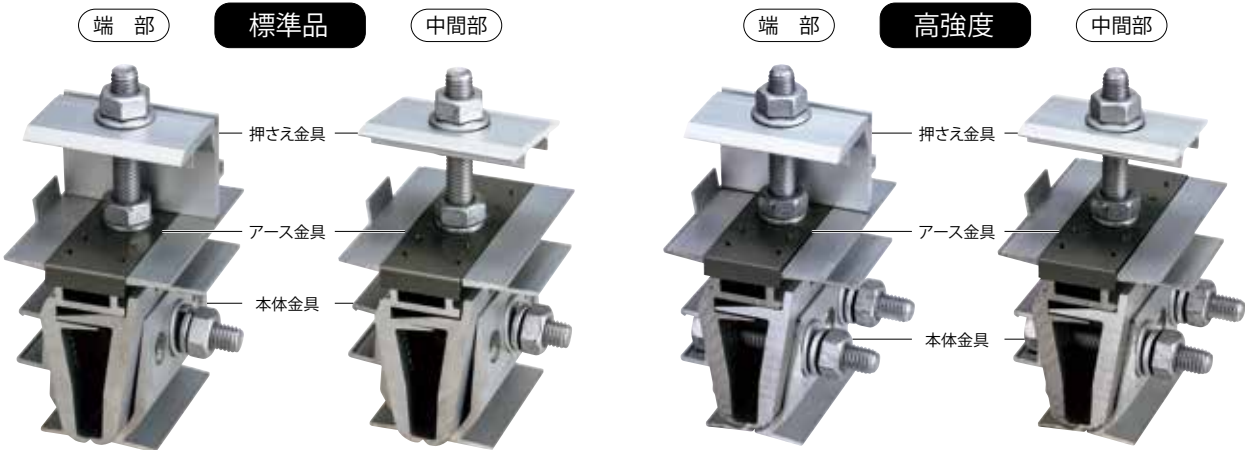
パネル取付部 断面タイプ	パネル高さ	タイプ	金具取付場所	製品コード	重量 (kg)	本体入数
NF	30mm (H30)	アルミ	中間部	SF1WH05J2	0.58	40
			端 部	SF1WH05Q3	0.63	40
	32mm (H32)	アルミ	中間部	SF1WH05J2	0.58	40
			端 部	SF1WH05J3	0.63	40
	34~37mm (H37)	アルミ	中間部	SF1WH05I2	0.58	40
			端 部	SF1WH05I3	0.63	40
	39~42mm (H40)	アルミ	中間部	SF1WH0582	0.58	40
			端 部	SF1WH0523	0.63	40
	44.5~47.5mm (H47)	アルミ	中間部	SF1WH0532	0.58	40
			端 部	SF1WH0533	0.63	40

製品コード欄の表記 [0] = 数字のゼロ、[O] = アルファベットのオー

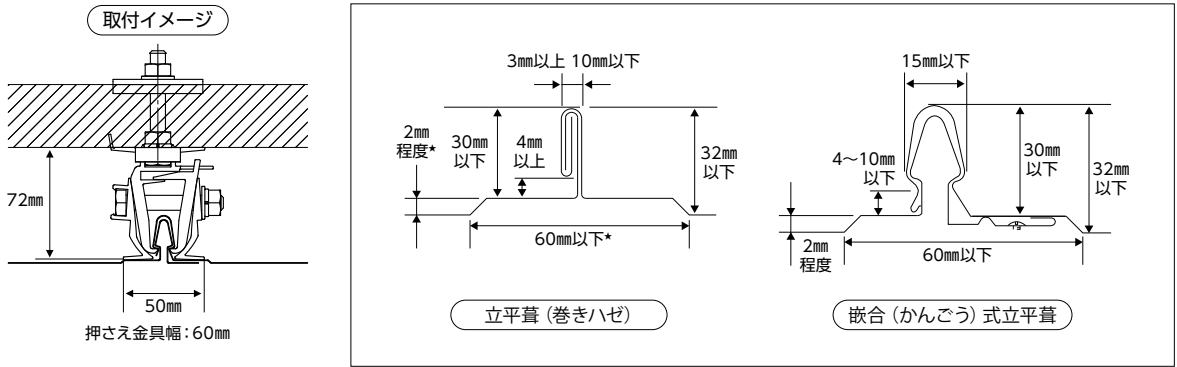
立平葺 (A)



製品外観



適合屋根形状



※高強度タイプは立平葺Bには適合しません。

高強度タイプは積雪100cm以上の多雪区域にも対応
強度検討・固定点数についてはお問合せください



ソーラーパネルサイズ 2.25㎡/台 以下

■設置条件

設計基準		JIS C 8955:2017に準拠します
隔離条件	設置 (傾斜) 角度 (屋根勾配)	レイアウトは屋根端部(屋根同士の境界含む)から必要な離隔(屋根端から各々辺長の10%、ただし2mを超える場合は2mとする)を確保
	0° 以上10° 未満	
屋根材		嵌合式立平葺/巻きハゼ
ソーラー金具		立平葺 AL直付ソーラー金具 NF (適合前提)
設置 (傾斜) 角度 (屋根勾配)		0° 以上、10° 未満
設置高さ (アレイ最頂部) H		19 [m] 以下
ソーラーパネル	面積 [㎡]	2.25 [㎡]
	重量 [kg]	20~35 [kg]
	タイプ	NFタイプ
	1長辺当たりの固定点数	右表参照
	設置向き	横置
風圧荷重	設計用基準風速 Vo	38 [m/s] 以下
	地表面粗度区分	III or IV、II
	用途係数 lw	1.0 (通常の太陽光発電システム)
積雪荷重	地上垂直積雪量 Zs	99 [cm] 以下
	雪の平均単位荷重 P	20 [N/㎡・cm] 以下 (一般の地方)
地震荷重	各部に生じる水平震度 KH	1.0 (耐震クラスB)
	地震地域係数 Z	1.2

※「勾配・地上垂直積雪量」と「設計用基準風速・設置高さ」を比較し、多い方が設置可能な固定点数の条件となります。
※表中の設置条件以外でも設置可能な場合がございますので、別途お問合せください。

■勾配・地上垂直積雪量に対する固定点数

勾配屋根設置: アレイ面 (屋根面)		垂直積雪量Zs[cm]					
屋根勾配 (寸)	設置 (傾斜) 角度	50 以下	60 以下	70 以下	80 以下	90 以下	99 以下
0.0~0.5	0.0° ~2.86°						
~1.0	~5.71°						
~1.5	~8.53°						
	~9.99°						

■ : 2点固定
■ : 3点固定
■ : 4点固定
■ : 5点固定
■ : 別途お問合せください

■設計用基準風速・設置高さに対する固定点数

【地表面粗度区分Ⅲ又はⅣ】		【地表面粗度区分Ⅱ】					
		設置 (屋根) 高さ (アレイ面の平均地上高) H (m)					
設計用基準風速 Vo (m/s)		5 以下	7 以下	10 以下	13 以下	16 以下	19 以下
30以下							
32以下							
34以下							
36以下							
38以下							

		設置 (屋根) 高さ (アレイ面の平均地上高) H (m)					
設計用基準風速 Vo (m/s)		5 以下	7 以下	10 以下	13 以下	16 以下	19 以下
30以下							
32以下							
34以下							
36以下							
38以下							

ソーラーパネルサイズ 2.8㎡/台 以下

■設置条件

設計基準		JIS C 8955:2017に準拠します
隔離条件	設置 (傾斜) 角度 (屋根勾配)	レイアウトは屋根端部(屋根同士の境界含む)から必要な離隔(屋根端から各々辺長の10%、ただし2mを超える場合は2mとする)を確保
	0° 以上10° 未満	
屋根材		嵌合式立平葺/巻きハゼ
ソーラー金具		立平葺 AL直付ソーラー金具 NF (適合前提)
設置 (傾斜) 角度 (屋根勾配)		0° 以上、10° 未満
設置高さ (アレイ最頂部) H		19 [m] 以下
ソーラーパネル	面積 [㎡]	2.8 [㎡]
	重量 [kg]	20~35 [kg]
	タイプ	NFタイプ
	1長辺当たりの固定点数	右表参照
	設置向き	横置
風圧荷重	設計用基準風速 Vo	38 [m/s] 以下
	地表面粗度区分	III or IV、II
	用途係数 lw	1.0 (通常の太陽光発電システム)
積雪荷重	地上垂直積雪量 Zs	99 [cm] 以下
	雪の平均単位荷重 P	20 [N/㎡・cm] 以下 (一般の地方)
地震荷重	各部に生じる水平震度 KH	1.0 (耐震クラスB)
	地震地域係数 Z	1.2

※「勾配・地上垂直積雪量」と「設計用基準風速・設置高さ」を比較し、多い方が設置可能な固定点数の条件となります。
※表中の設置条件以外でも設置可能な場合がございますので、別途お問合せください。

■勾配・地上垂直積雪量に対する固定点数

勾配屋根設置: アレイ面 (屋根面)		垂直積雪量Zs[cm]					
屋根勾配 (寸)	設置 (傾斜) 角度	50 以下	60 以下	70 以下	80 以下	90 以下	99 以下
0.0~0.5	0.0° ~2.86°						
~1.0	~5.71°						
~1.5	~8.53°						
	~9.99°						

■ : 2点固定
■ : 3点固定
■ : 4点固定
■ : 5点固定
■ : 別途お問合せください

■設計用基準風速・設置高さに対する固定点数

【地表面粗度区分Ⅲ又はⅣ】		【地表面粗度区分Ⅱ】					
		設置 (屋根) 高さ (アレイ面の平均地上高) H (m)					
設計用基準風速 Vo (m/s)		5 以下	7 以下	10 以下	13 以下	16 以下	19 以下
30以下							
32以下							
34以下							
36以下							
38以下							

		設置 (屋根) 高さ (アレイ面の平均地上高) H (m)					
設計用基準風速 Vo (m/s)		5 以下	7 以下	10 以下	13 以下	16 以下	19 以下
30以下							
32以下							
34以下							
36以下							
38以下							

製品コード・重量・入数

アルミタイプ立平葺屋根A・B用ソーラー金具

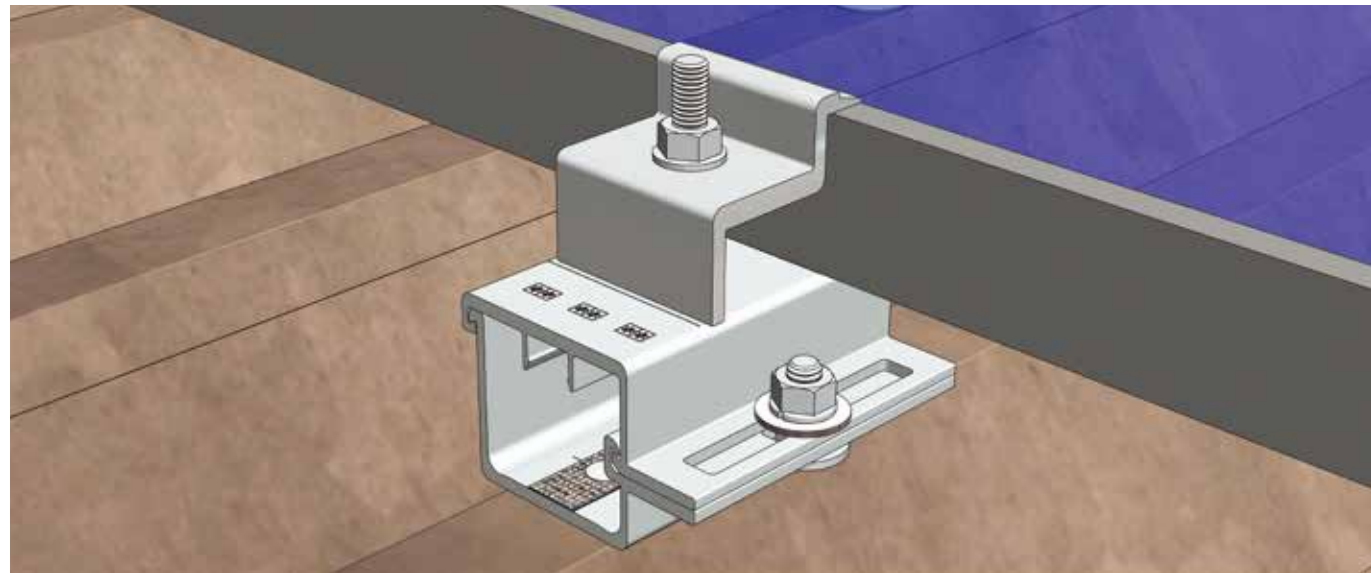
パネル取付部 断面タイプ	パネル高さ	タイプ	金具 取付場所	製品コード	重量 (kg)	本体 入数
NF	30mm (H30)	アルミ	中間部	SF1WH05J2	0.58	40
			端部	SF1WH05Q3	0.63	40
	32mm (H32)	アルミ	中間部	SF1WH05J2	0.58	40
			端部	SF1WH05J3	0.63	40
	34~37mm (H37)	アルミ	中間部	SF1WH05I2	0.58	40
			端部	SF1WH05I3	0.63	40
	39~42mm (H40)	アルミ	中間部	SF1WH0582	0.58	40
			端部	SF1WH0523	0.63	40
	445~475mm (H47)	アルミ	中間部	SF1WH0532	0.58	40
			端部	SF1WH0533	0.63	40

高強度アルミタイプ立平葺屋根A用ソーラー金具

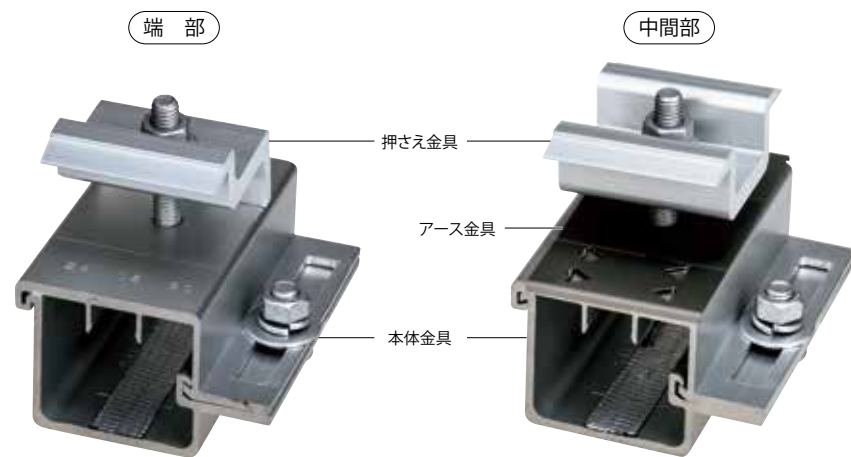
パネル取付部 断面タイプ	パネル高さ	タイプ	金具 取付場所	製品コード	重量 (kg)	本体 入数
NF	30mm (H30)	高強度	中間部	SF1WH15J2	0.58	40
			端部	SF1WH15Q3	0.63	40
	32mm (H32)	高強度	中間部	SF1WH15J2	0.58	40
			端部	SF1WH15J3	0.63	40
	34~37mm (H37)	高強度	中間部	SF1WH15I2	0.58	40
			端部	SF1WH15I3	0.63	40
	39~42mm (H40)	高強度	中間部	SF1WH1582	0.58	40
			端部	SF1WH1523	0.63	40
	445~475mm (H47)	高強度	中間部	SF1WH1532	0.58	40
			端部	SF1WH1533	0.63	40

※高強度タイプは立平A屋根のみ、NFタイプのみ
製品コード欄の表記 [0] = 数字のゼロ、[O] = アルファベットのオー

重ね式折板・PX/PR (PW) /ID Panel

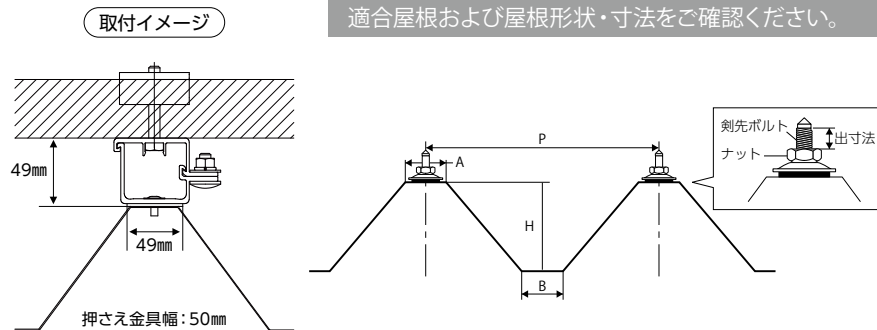


製品外観



※アース金具はオプション品です。

適合屋根形状



■折板名称と主な寸法 [単位: mm]

屋根形状	H	P	A	B	剣先ボルト径
88タイプ	88	200	35	35	w5/16又はM8
150タイプ	150	250	40	40	w3/8又はM10
550タイプ	130	275	40	50	w3/8又はM10
PX/PR (PW) Panel	30	300			専用ファスナー
ID Panel	30	250			専用ファスナー

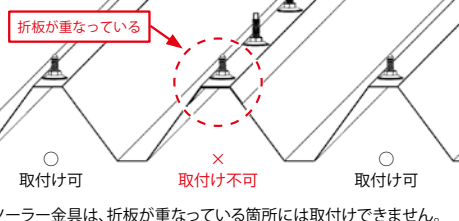
※その他屋根の適合についてはお問い合わせください。

施工について

ブラインドリベットを打ち込む際には、
専用工具が必要となります。

アタッチメントリベッター
(株)ロブテックスファスニングシステム社製
@R031

※詳しくは弊社担当営業まで
お問い合わせください。



※ソーラー金具は、折板が重なっている箇所には取付けできません。

ソーラーパネルサイズ 2.25㎡/台 以下

■設置条件

設計基準		JIS C 8955:2017に準拠します
離隔条件	設置 (傾斜) 角度 (屋根勾配)	レイアウトは屋根端部(屋根同士の境界含む)から必要な離隔(屋根端から各々辺長の10%、ただし2mを超える場合は2mとする)を確保
	0° 以上10° 未満	
屋根材		重ね式 88TP / 150TP / 550TP
ソーラー金具		重ね式 直付ソーラー金具 NF (適合前提)
設置 (傾斜) 角度 (屋根勾配)		0° 以上、10° 未満
設置高さ (アレイ最頂部) H		19 [m] 以下
ソーラーパネル	面積 [㎡]	2.25 [㎡]
	重量 [kg]	20~35 [kg]
	タイプ	NFタイプ
	1長辺当たりの固定点数	右表参照
設置向き		横置
風圧荷重	設計用基準風速 Vo	38 [m/s] 以下
	地表面粗度区分	III or IV、II
積雪荷重	用途係数 lw	1.0 (通常の太陽光発電システム)
	地上垂直積雪量 Zs	99 [cm] 以下
積雪荷重	雪の平均単位荷重 P	20 [N/㎡・cm] 以下 (一般の地方)
	各部に生じる水平震度 KH	1.0 (耐震クラスB)
地震荷重	地震地域係数 Z	1.2

※「勾配・地上垂直積雪量」と「設計用基準風速・設置高さ」を比較し、多い方が設置可能な固定点数の条件となります。

※表中の設置条件以外でも設置可能な場合がございますので、別途お問い合わせください。

■勾配・地上垂直積雪量に対する固定点数

勾配屋根設置: アレイ面 (屋根面)		垂直積雪量ZS[cm]					
屋根勾配 (寸)	設置 (傾斜) 角度	50 以下	60 以下	70 以下	80 以下	90 以下	99 以下
0.0~0.5	0.0° ~2.86°						
~1.0	~5.71°						
~1.5	~8.53°						
	~9.99°						

■ : 2点固定
■ : 3点固定
■ : 4点固定
■ : 5点固定
■ : 別途お問い合わせください

■設計用基準風速・設置高さに対する固定点数

【地表面粗度区分Ⅲ又はⅣ】		【地表面粗度区分Ⅱ】					
		設置 (屋根) 高さ (アレイ面の平均地上高) H (m)					
設計用基準風速 Vo (m/s)		5 以下	7 以下	10 以下	13 以下	16 以下	19 以下
30以下							
32以下							
34以下							
36以下							
38以下							

ソーラーパネルサイズ 2.8㎡/台 以下

■設置条件

設計基準		JIS C 8955:2017に準拠します
離隔条件	設置 (傾斜) 角度 (屋根勾配)	レイアウトは屋根端部(屋根同士の境界含む)から必要な離隔(屋根端から各々辺長の10%、ただし2mを超える場合は2mとする)を確保
	0° 以上10° 未満	
屋根材		重ね式 88TP / 150TP / 550TP
ソーラー金具		重ね式 直付ソーラー金具 NF (適合前提)
設置 (傾斜) 角度 (屋根勾配)		0° 以上、10° 未満
設置高さ (アレイ最頂部) H		19 [m] 以下
ソーラーパネル	面積 [㎡]	2.8 [㎡]
	重量 [kg]	20~35 [kg]
	タイプ	NFタイプ
	1長辺当たりの固定点数	右表参照
設置向き		横置
風圧荷重	設計用基準風速 Vo	38 [m/s] 以下
	地表面粗度区分	III or IV、II
積雪荷重	用途係数 lw	1.0 (通常の太陽光発電システム)
	地上垂直積雪量 Zs	99 [cm] 以下
積雪荷重	雪の平均単位荷重 P	20 [N/㎡・cm] 以下 (一般の地方)
	各部に生じる水平震度 KH	1.0 (耐震クラスB)
地震荷重	地震地域係数 Z	1.2

※「勾配・地上垂直積雪量」と「設計用基準風速・設置高さ」を比較し、多い方が設置可能な固定点数の条件となります。

※表中の設置条件以外でも設置可能な場合がございますので、別途お問い合わせください。

■勾配・地上垂直積雪量に対する固定点数

勾配屋根設置: アレイ面 (屋根面)		垂直積雪量ZS[cm]					
屋根勾配 (寸)	設置 (傾斜) 角度	50 以下	60 以下	70 以下	80 以下	90 以下	99 以下
0.0~0.5	0.0° ~2.86°						
~1.0	~5.71°						
~1.5	~8.53°						
	~9.99°						

■ : 2点固定
■ : 3点固定
■ : 4点固定
■ : 5点固定
■ : 別途お問い合わせください

■設計用基準風速・設置高さに対する固定点数

【地表面粗度区分Ⅲ又はⅣ】		【地表面粗度区分Ⅱ】					
		設置 (屋根) 高さ (アレイ面の平均地上高) H (m)					
設計用基準風速 Vo (m/s)		5 以下	7 以下	10 以下	13 以下	16 以下	19 以下
30以下							
32以下							
34以下							
36以下							
38以下							

※PX/PR (PW) /ID Panelについては上記表の適用外です。別途お問い合わせください。

製品コード・重量・入数

88・150・550タイプ						
パネル取付部断面タイプ	パネル高さ	タイプ	金具取付場所	製品コード	重量 (kg)	本体入数
NF	30mm (H30)	アルミ	中間部	SB0WH05K2	0.30	20
			端部	SB0WH05Q3	0.31	20
	32mm (H32)	アルミ	中間部	SB0WH05K2	0.30	20
			端部	SB0WH05J3	0.31	20
	34~37mm (H37)	アルミ	中間部	SB0WH05K2	0.30	20
			端部	SB0WH05I3	0.31	20
	39~42mm (H40)	アルミ	中間部	SB0WH05M2	0.30	20
			端部	SB0WH05J3	0.31	20
	44.5~47.5mm (H47)	アルミ	中間部	SB0WH05M2	0.30	20
			端部	SB0WH05J3	0.31	20

PX/PR (PW) /ID Panel						
パネル取付部断面タイプ	パネル高さ	タイプ	金具取付場所	製品コード	重量 (kg)	本体入数
NF	30mm (H30)	アルミ	中間部	SB6WH05U2	0.31	20
			端部	SB6WH05Q3	0.33	20
	32mm (H32)	アルミ	中間部	SB6WH05U2	0.31	20
			端部	コード設定中	0.33	20
	34~37mm (H37)	アルミ	中間部	SB6WH05E2	0.31	20
			端部	SB6WH05I3	0.33	20
	39~42mm (H40)	アルミ	中間部	SB6WH05E2	0.31	20
			端部	SB6WH05J3	0.33	20
	44.5~47.5mm (H47)	アルミ	中間部	コード設定中	0.31	20
			端部	コード設定中	0.33	20

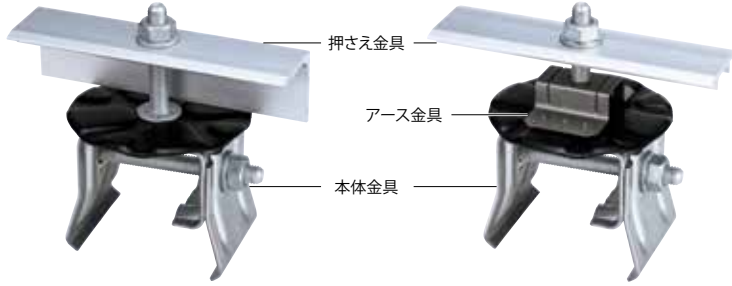
製品コード欄の表記 [0] = 数字のゼロ、[O] = アルファベットのオー

嵌合式 BL500タイプ・ハゼ嵌合式Aタイプ

嵌合式BL500タイプ

端 部

中間部





山ピッチ：500mm

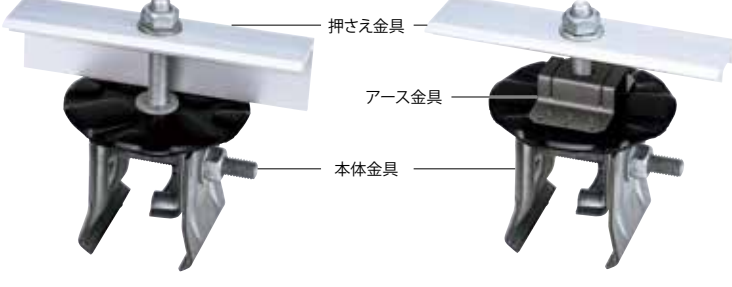
パネル取付部 断面タイプ	パネル高さ	金具取付場所	製品コード	重量 (kg)	本体入数
NF	30mm (H30)	中間部	SC2AB25J2	0.59	40
		端 部	SC2AB25L3	0.59	40
	32mm (H32)	中間部	SC2AB25J2	0.59	40
		端 部	SC2AB25J3	0.59	40
	34～37mm (H37)	中間部	SC2AB25E2	0.59	40
		端 部	SC2AB25I3	0.59	40
	39～42mm (H40)	中間部	SC2AB25E2	0.59	40
		端 部	SC2AB25Z3	0.59	40
	44.5～47.5mm (H47)	中間部	SC2AB25F2	0.59	40
		端 部	SC2AB2533	0.59	40
※アース金具はオプション品です。					

製品コード欄の表記【0】＝数字のゼロ、【O】＝アルファベットのオー

嵌合式BL600タイプ

端 部

中間部





山ピッチ：300（働き幅：600）

パネル取付部 断面タイプ	パネル高さ	金具取付場所	製品コード	重量 (kg)	本体入数
NF	30mm (H30)	中間部	SC3AB25J2	0.59	40
		端 部	SC3AB25L3	0.59	40
	32mm (H32)	中間部	SC3AB25J2	0.59	40
		端 部	SC3AB25J3	0.59	40
	34～37mm (H37)	中間部	SC3AB25E2	0.59	40
		端 部	SC3AB25I3	0.59	40
	39～42mm (H40)	中間部	SC3AB25E2	0.59	40
		端 部	SC3AB25Z3	0.59	40
	44.5～47.5mm (H47)	中間部	SC3AB25F2	0.59	40
		端 部	SC3AB2533	0.59	40
※アース金具はオプション品です。					

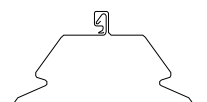
製品コード欄の表記【0】＝数字のゼロ、【O】＝アルファベットのオー

ハゼ嵌合式Aタイプ

端 部

中間部





山ピッチ：500mm

パネル取付部 断面タイプ	パネル高さ	金具取付場所	製品コード	重量 (kg)	本体入数
NF	30mm (H30)	中間部	SD1AB25L2	0.54	40
		端 部	SD1AB25L3	0.54	40
	32mm (H32)	中間部	SD1AB25J2	0.54	40
		端 部	SD1AB25J3	0.54	40
	34～37mm (H37)	中間部	SD1AB25E2	0.54	40
		端 部	SD1AB25I3	0.54	40
	39～42mm (H40)	中間部	SD1AB25E2	0.54	40
		端 部	SD1AB25Z3	0.54	40
	44.5～47.5mm (H47)	中間部	SD1AB25F2	0.54	40
		端 部	SD1AB2533	0.54	40
※アース金具はオプション品です。					

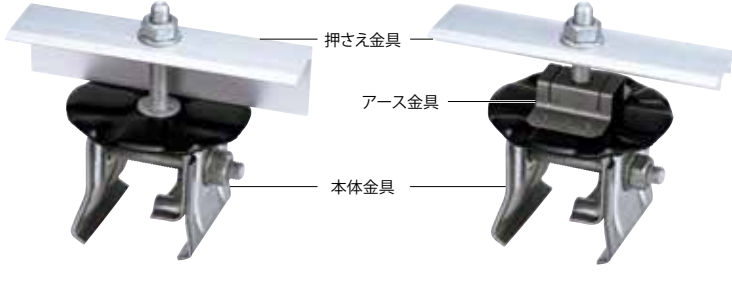
製品コード欄の表記【0】＝数字のゼロ、【O】＝アルファベットのオー

嵌合式 スーパールーフ66・G6・G7

嵌合式 スーパールーフ66タイプ

端 部

中間部





山ピッチ：365／418／420／455mm

パネル取付部 断面タイプ	パネル高さ	金具取付場所	製品コード	重量 (kg)	本体入数
NF	30mm (H30)	中間部	SC1AB25J2	0.59	40
		端 部	SC1AB25L3	0.59	40
	32mm (H32)	中間部	SC1AB25J2	0.59	40
		端 部	SC1AB25J3	0.59	40
	34～37mm (H37)	中間部	SC1AB25E2	0.59	40
		端 部	SC1AB25I3	0.59	40
	39～42mm (H40)	中間部	SC1AB25E2	0.59	40
		端 部	SC1AB25Z3	0.59	40
	44.5～47.5mm (H47)	中間部	SC1AB25F2	0.59	40
		端 部	SC1AB2533	0.59	40
※アース金具はオプション品です。					

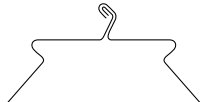
製品コード欄の表記【0】＝数字のゼロ、【O】＝アルファベットのオー

ハゼ嵌合式 G6

端 部

中間部





山ピッチ：500mm

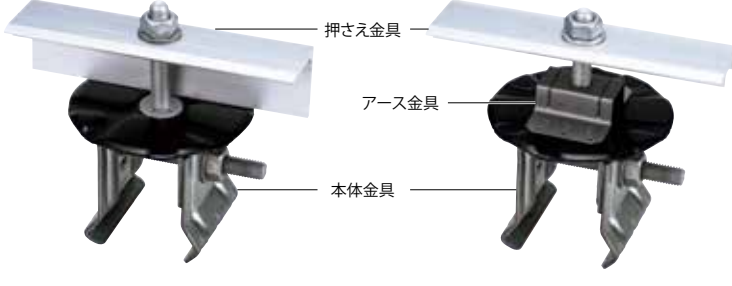
パネル取付部 断面タイプ	パネル高さ	金具取付場所	製品コード	重量 (kg)	本体入数
NF	30mm (H30)	中間部	SD2AB25L2	0.63	40
		端 部	SD2AB25L3	0.63	40
	32mm (H32)	中間部	SD2AB25J2	0.63	40
		端 部	SD2AB25J3	0.63	40
	34～37mm (H37)	中間部	SD2AB25E2	0.63	40
		端 部	SD2AB25I3	0.63	40
	39～42mm (H40)	中間部	SD2AB25E2	0.63	40
		端 部	SD2AB25Z3	0.63	40
	44.5～47.5mm (H47)	中間部	SD2AB25F2	0.63	40
		端 部	コード設定中	0.63	40
※アース金具はオプション品です。					

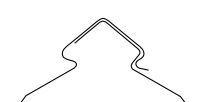
製品コード欄の表記【0】＝数字のゼロ、【O】＝アルファベットのオー

嵌合式 G7

端 部

中間部





山ピッチ：500mm

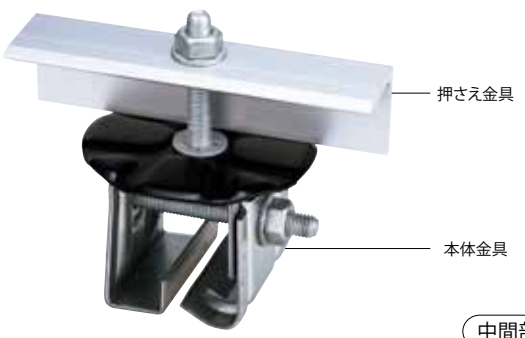
パネル取付部 断面タイプ	パネル高さ	金具取付場所	製品コード	重量 (kg)	本体入数
NF	30mm (H30)	中間部	SC5AB25N2	0.56	40
		端 部	SC5AB25L3	0.56	40
	32mm (H32)	中間部	SC5AB25J2	0.56	40
		端 部	SC5AB25J3	0.56	40
	34～37mm (H37)	中間部	SC5AB25E2	0.56	40
		端 部	SC5AB25I3	0.56	40
	39～42mm (H40)	中間部	SC5AB25E2	0.56	40
		端 部	SC5AB25Z3	0.56	40
	44.5～47.5mm (H47)	中間部	コード設定中	0.56	40
		端 部	コード設定中	0.56	40
※アース金具はオプション品です。					

製品コード欄の表記【0】＝数字のゼロ、【O】＝アルファベットのオー

日輪折板馳2型・ハゼ式D

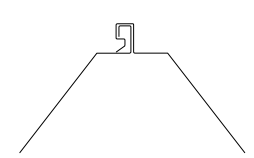
日輪折板馳2型屋根

端 部



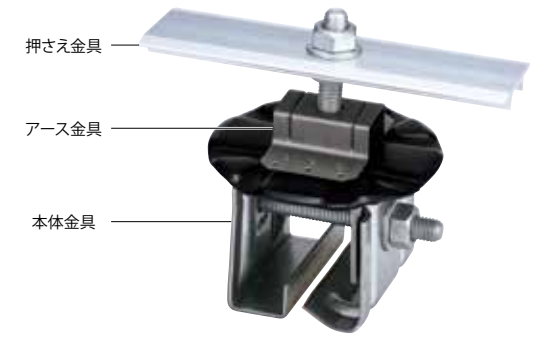
押さえ金具

本体金具



山ピッチ：500mm

中間部



押さえ金具

アース金具

本体金具

パネル取付部 断面タイプ	パネル高さ	金具取付場所	製品コード	重量 (kg)	本体入数
NF	30mm (H30)	中間部	SD1AB25L2	0.54	40
		端 部	SD1AB25L3	0.54	40
	32mm (H32)	中間部	SD1AB25J2	0.54	40
		端 部	SD1AB25J3	0.54	40
	34~37mm (H37)	中間部	SD1AB25E2	0.54	40
		端 部	SD1AB25I3	0.54	40
	39~42mm (H40)	中間部	SD1AB25E2	0.54	40
		端 部	SD1AB2523	0.54	40
	44.5~47.5mm (H47)	中間部	SD1AB25F2	0.54	40
		端 部	SD1AB2533	0.54	40

※アース金具はオプション品です。

製品コード欄の表記 **[0]** = 数字のゼロ、**[O]** = アルファベットのオー

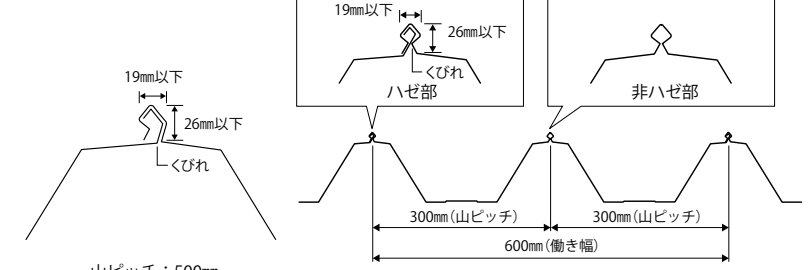
ハゼ式D (ハゼV) 屋根

端 部



押さえ金具

本体金具



山ピッチ：500mm

ハゼ式D (ハゼV-500)

ハゼ式D (ハゼV-600)

中間部



押さえ金具

アース金具

本体金具

パネル取付部 断面タイプ	パネル高さ	金具取付場所	製品コード	重量 (kg)	本体入数
NF	30mm (H30)	中間部	SA4AB25K2	0.59	20
		端 部	SA4AB25L3	0.59	20
	32mm (H32)	中間部	SA4AB25K2	0.59	20
		端 部	SA4AB25J3	0.59	20
	34~37mm (H37)	中間部	SA4AB25K2	0.59	20
		端 部	SA4AB25I3	0.59	20
	39~42mm (H40)	中間部	SA4AB2582	0.59	20
		端 部	SA4AB2523	0.59	20
	44.5~47.5mm (H47)	中間部	SA4AB2532	0.59	20
		端 部	SA4AB2533	0.59	20

※アース金具はオプション品です。

製品コード欄の表記 **[0]** = 数字のゼロ、**[O]** = アルファベットのオー

瓦棒葺 三晃式・瓦棒400

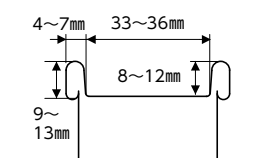
三晃式 (巾33-35mm) 用

端 部

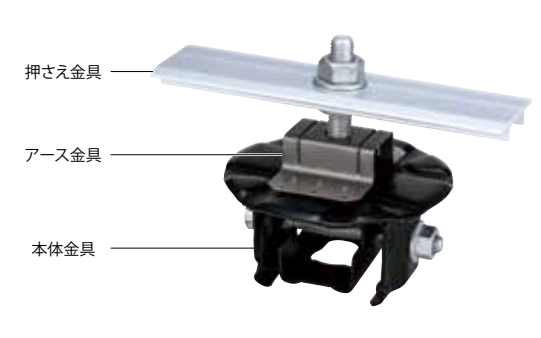


押さえ金具

本体金具



中間部



押さえ金具

アース金具

本体金具

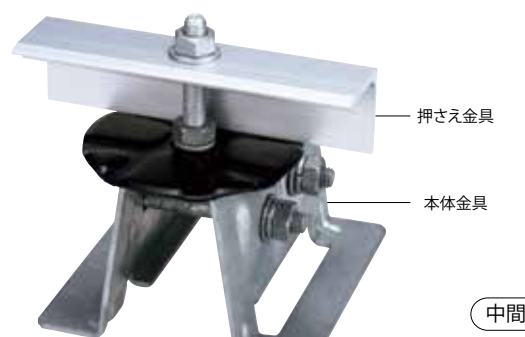
パネル取付部 断面タイプ	パネル高さ	金具取付場所	製品コード	重量 (kg)	本体入数
NF	30mm (H30)	中間部	別途 お問い合わせ ください	0.44	20
		端 部		0.44	20
	32mm (H32)	中間部		0.44	20
		端 部		0.44	20
	34~37mm (H37)	中間部		0.44	20
		端 部		0.44	20
	39~42mm (H40)	中間部		0.44	20
		端 部		0.44	20
	44.5~47.5mm (H47)	中間部		0.44	20
		端 部		0.44	20

※アース金具はオプション品です。

製品コード欄の表記 **[0]** = 数字のゼロ、**[O]** = アルファベットのオー

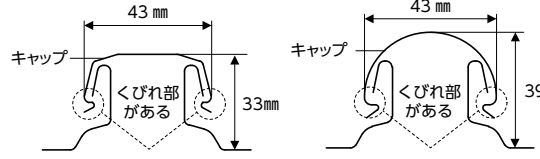
瓦棒400

端 部



押さえ金具

本体金具



瓦棒400角型

瓦棒400丸型

中間部



押さえ金具

アース金具

本体金具

パネル取付部 断面タイプ	パネル高さ	金具取付場所	製品コード	重量 (kg)	本体入数
NF	30mm (H30)	中間部	別途 お問い合わせ ください		
		端 部			
	32mm (H32)	中間部			
		端 部			
	34~37mm (H37)	中間部			
		端 部			
	39~42mm (H40)	中間部			
		端 部			
	44.5~47.5mm (H47)	中間部			
		端 部			

※アース金具はオプション品です。

製品コード欄の表記 **[0]** = 数字のゼロ、**[O]** = アルファベットのオー

瓦棒葺 丸ハゼ式・林式巾45・林式巾55

丸ハゼ式 (巾35mm)

端 部

中間部

パネル取付部 断面タイプ	パネル高さ	金具取付場所	製品コード	重量 (kg)	本体入数
NF	30mm (H30)	中間部	別途 お問い合わせ ください	0.49	20
		端 部		0.49	20
	32mm (H32)	中間部		0.49	20
		端 部		0.49	20
	34~37mm (H37)	中間部		0.49	20
		端 部		0.49	20
	39~42mm (H40)	中間部		0.49	20
		端 部		0.49	20
	44.5~47.5mm (H47)	中間部		0.49	20
		端 部		0.49	20

※アース金具はオプション品です。

製品コード欄の表記【0】=数字のゼロ、【O】=アルファベットのオー

林式 (巾45mm)

端 部

中間部

パネル取付部 断面タイプ	パネル高さ	金具取付場所	製品コード	重量 (kg)	本体入数
NF	30mm (H30)	中間部	別途 お問い合わせ ください	0.49	30
		端 部		0.49	30
	32mm (H32)	中間部		0.49	30
		端 部		0.49	30
	34~37mm (H37)	中間部		0.49	30
		端 部		0.49	30
	39~42mm (H40)	中間部		0.49	30
		端 部		0.49	30
	44.5~47.5mm (H47)	中間部		0.49	30
		端 部		0.49	30

※アース金具はオプション品です。

製品コード欄の表記【0】=数字のゼロ、【O】=アルファベットのオー

林式 (巾55mm)

端 部

中間部

パネル取付部 断面タイプ	パネル高さ	金具取付場所	製品コード	重量 (kg)	本体入数
NF	30mm (H30)	中間部	別途 お問い合わせ ください	0.49	20
		端 部		0.49	20
	32mm (H32)	中間部		0.49	20
		端 部		0.49	20
	34~37mm (H37)	中間部		0.49	20
		端 部		0.49	20
	39~42mm (H40)	中間部		0.49	20
		端 部		0.49	20
	44.5~47.5mm (H47)	中間部		0.49	20
		端 部		0.49	20

※アース金具はオプション品です。

製品コード欄の表記【0】=数字のゼロ、【O】=アルファベットのオー

ソーラーパネル設置可能範囲

屋根設置について (ソーラーパネル設置可能範囲)

設置 (傾斜) 角度 (屋根勾配) : 0° 以上 10° 未満

★の値が 2mを超える場合は、2m とする。
屋根端部はパラペットの外側 (外壁外側)

①アレイ (ソーラーパネルおよび金具・架台) を上記の設置対象屋根 (建物) の屋根周辺部 (外周のこと。屋根端部からそれぞれ辺長の10%以内の範囲とする。ただし、辺長の10%が2mを超える場合は2mとする。) へ陸屋根設置で設置する場合は、JIS C 8955:2017の適用外です。

設置 (傾斜) 角度 (屋根勾配) : 10° 以上 40° 以下

■切妻屋根

■寄棟屋根

①上記の設置 (傾斜) 角度内で、アレイ (ソーラーパネルおよび金具・架台) を、上記の設置対象屋根 (建物) の屋根周辺部 (軒・けばらおよび棟から30cm以内の範囲) へ屋根置き形 (勾配屋根設置) で設置する場合は、JIS C 8955:2017の適用範囲外です。

②以下のような寄棟屋根へのソーラーパネルの設置の場合は、この設置条件の対象外です。別途、お問い合わせください。

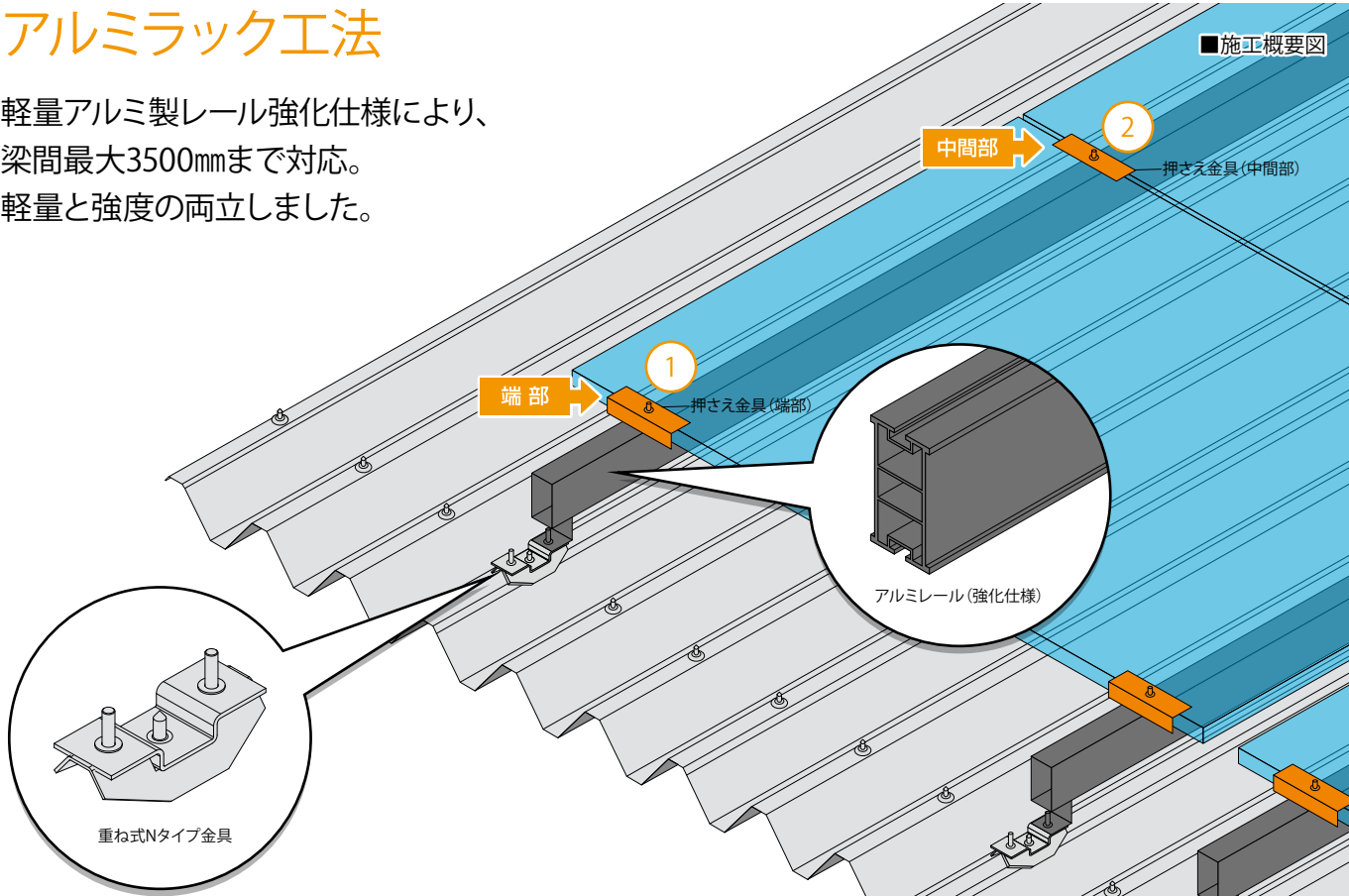
- ・屋根表面とソーラーパネル下面との最大距離dがd>50mmとなる寄棟屋根の端部ソーラーパネルを設置する場合

■：端部モジュール
寄棟屋根の端部ソーラーパネル

重ね式折板

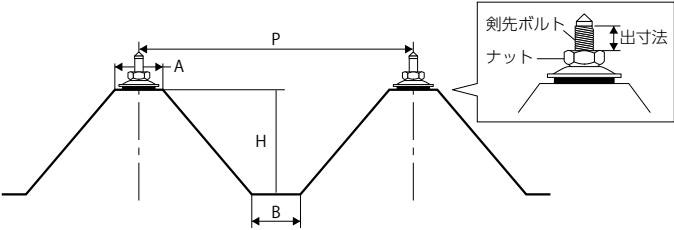
アルミラック工法

軽量アルミ製レール強化仕様により、
梁間最大3500mmまで対応。
軽量と強度の両立しました。



※1・2：意匠登録済

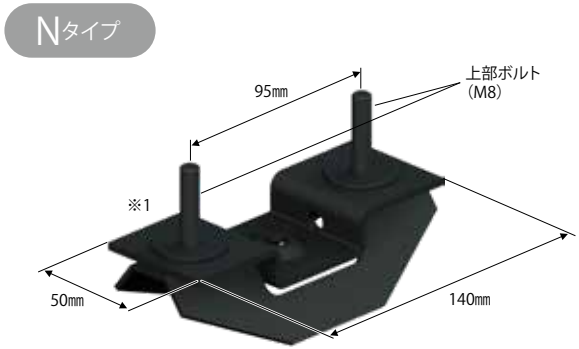
適合屋根および屋根形状・寸法をご確認ください。



【主な設置条件】
※剣先ボルトに著しい腐食・錆がなく、ネジ山に損傷がないこと。塗装されていないこと。
※タイトフレームの座金付ナットが容易に外せること（座金付ナットが共回りしないこと）。
※タイトフレームの剣先ボルトの径（インチ又はミリ）、材質・表面処理（めっき又はステン）
※剣先ボルトの出寸法（有効ネジ部）…ソーラー金具取付時、六角ナット（ダブルナット）の有効ネジが
剣先ボルトに全て入っていること。（必要な出寸法 88タイプ：10～15mm、150・S60タイプ：10～20mm）
その他設置条件の詳細についてはお問い合わせください。

※設置条件によっては鉄ラック工法によるご案内になることがありますのであらかじめご了承ください。
※設置条件によっては設置不可となる可能性がありますのであらかじめご了承ください。

重ね式屋根



製品コード欄の表記 【0】=数字のゼロ、【O】=アルファベットのオー

88タイプ用ソーラー金具

表面処理(本体)	タイプ	製品コード	重量(kg)	本体入数
高耐食性めっき鋼板＋黒塗装	N	SB1BC2080	0.60	40

締付トルク／ソーラー金具本体（タイトフレームボルト取付）
15.0 ～ 20.0N・m（ボルトサイズ 5／16・M8時）

■許容荷重(k N)	引張	圧縮	滑り	側圧
N	3.85	5.00	1.80	3.98

付属品：ナット類（ラックは付属しておりません）

S60タイプ用ソーラー金具

表面処理(本体)	タイプ	製品コード	重量(kg)	本体入数
高耐食性めっき鋼板＋黒塗装	N	SB3BC2080	0.60	40

締付トルク／ソーラー金具本体（タイトフレームボルト取付）
24.5 ～ 30.0N・m（ボルトサイズ 3／8・M10時）

■許容荷重(k N)	引張	圧縮	滑り	側圧
N	4.61	4.85	1.29	2.72

付属品：ナット類（ラックは付属しておりません）

150タイプ用ソーラー金具

表面処理(本体)	タイプ	製品コード	重量(kg)	本体入数
高耐食性めっき鋼板＋黒塗装	N	SB2BC2080	0.60	40

締付トルク／ソーラー金具本体（タイトフレームボルト取付）
24.5 ～ 30.0N・m（ボルトサイズ 3／8・M10時）

■許容荷重(k N)	引張	圧縮	滑り	側圧
N	4.81	6.98	1.73	2.85

付属品：ナット類（ラックは付属しておりません）

ルーフ66タイプ用ソーラー金具（88タイプ用ソーラー金具と同製品になります）

表面処理(本体)	タイプ	製品コード	重量(kg)	本体入数
高耐食性めっき鋼板＋黒塗装	N	SB1BC2080	0.60	40

締付トルク／ソーラー金具本体（タイトフレームボルト取付）
15.0 ～ 20.0N・m（ボルトサイズ 5／16・M8時）

■許容荷重(k N)	引張	圧縮	滑り	側圧
N	3.70	6.20	2.29	0.76

付属品：ナット類（ラックは付属しておりません）

ハゼ式屋根／ハゼ式 AL3（角/丸ハゼ兼用）

製品コード欄の表記 【0】＝数字のゼロ、【O】＝アルファベットのオー

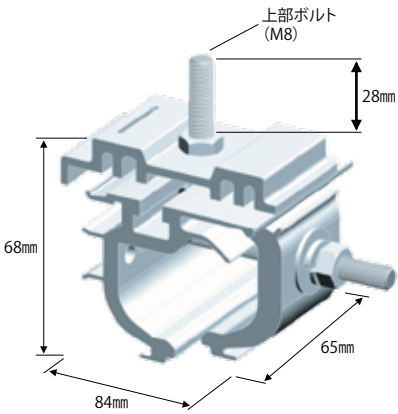
■ハゼA/Bタイプ（角/丸ハゼ兼用）

表面処理（本体）	製品コード	重量 (kg)	本体入数
アルミ	SA5WC00R0	0.29	40

付属品：ナット類（ラックは付属しておりません。）

■許容荷重（k N）

引張	1.81
圧縮	2.42
滑り	0.28
側圧	0.30



	標準締付トルク	検査時の締付トルクの適正值（増締めトルク法）
ラック	17 [N・m] ※使用ラックの指定トルクを優先してください。 ※ボルト破断がないように、24 [N・m] 未満で締め付けてください。	
本体金具（側部）	17 [N・m]	13～18 [N・m]

ハゼ式屋根／ハゼ式 A・B（角ハゼ用・丸ハゼ用）

製品コード欄の表記 【0】＝数字のゼロ、【O】＝アルファベットのオー

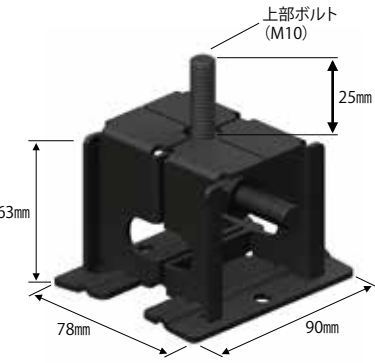
■ハゼAタイプ（角ハゼ）

表面処理（本体）	製品コード	重量 (kg)	本体入数
高耐食性めっき鋼板＋黒塗装	SA1CC00E0	0.55	40

付属品：ナット類（ラックは付属しておりません。）

■許容荷重（k N）

引張	2.00
圧縮	33.00
滑り	1.00
側圧	2.00



■ハゼBタイプ（丸ハゼ）

表面処理（本体）	製品コード	重量 (kg)	本体入数
高耐食性めっき鋼板＋黒塗装	SA2CC00E0	0.55	40

付属品：ナット類（ラックは付属しておりません。）

締付トルク／ソーラー金具本体 29.4 ～ 40.0N ・ m

立平葺屋根

製品コード欄の表記 【0】＝数字のゼロ、【O】＝アルファベットのオー

■立平葺A

表面処理（本体）	製品コード	重量 (kg)	本体入数
アルミ	SF3WC00P0	0.52	36

付属品：ナット類（ラックは付属しておりません。）

■立平葺B

表面処理（本体）	製品コード	重量 (kg)	本体入数
アルミ	SF3WC00P0	0.52	36

付属品：ナット類（ラックは付属しておりません。）

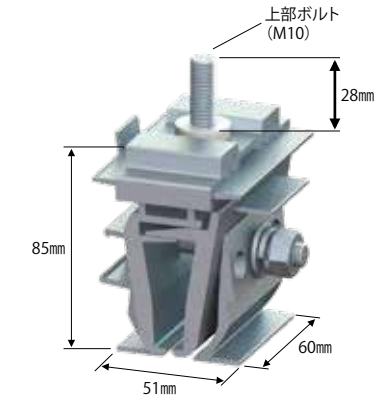
締付トルク／ソーラー金具本体 27.0N ・ m

■許容荷重（k N）

引張	0.97
圧縮	4.00
滑り	0.68
側圧	1.14

■許容荷重（k N）

引張	1.88
圧縮	2.75
滑り	0.56
側圧	0.28



嵌合式／ハゼ嵌合式屋根

製品コード欄の表記 【0】＝数字のゼロ、【O】＝アルファベットのオー

■嵌合式／ハゼ嵌合式

屋根タイプ	表面処理（本体）	製品コード	重量 (kg)	本体入数
BL500	高耐食性めっき鋼板＋黒塗装	SC2BC00E0	0.45	40
BL600	高耐食性めっき鋼板＋黒塗装	SC3BC00E0	0.40	20
ハゼ嵌合式 A	高耐食性めっき鋼板＋黒塗装	SD1BC00E0	0.45	20
スーパールーフ66	高耐食性めっき鋼板＋黒塗装	SC1BC00E0	0.40	40
ハゼ嵌合式G6	高耐食性めっき鋼板＋黒塗装	SD2BC00E0	0.43	20
嵌合式G7	高耐食性めっき鋼板＋黒塗装	SC5BC00E0	0.38	20

付属品：ナット類（ラックは付属しておりません。）

■許容荷重（k N）

	BL500	BL600	ハゼ嵌合式 A	スーパールーフ66	G6	G7
引張	3.38	2.64	1.09	0.85	2.88	3.48
圧縮	2.47	1.45	3.30	2.46	3.29	2.09
滑り	0.41	0.37	0.42	0.40	0.48	0.50
側圧	1.24	0.73	1.36	1.02	1.39	0.64

締付トルク／ソーラー金具本体 29.4N ・ m



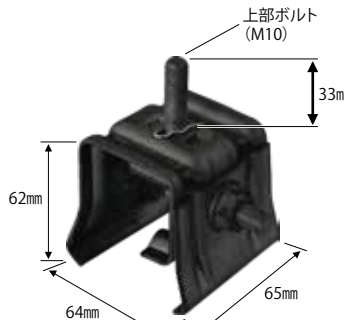
BL500



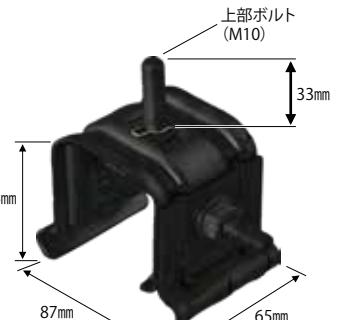
BL600



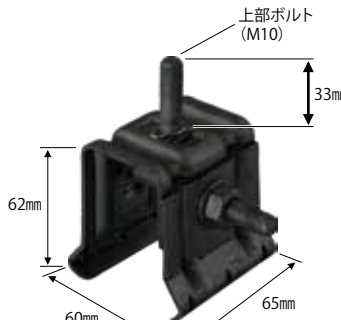
ハゼ嵌合式 A



スーパールーフ66



ハゼ嵌合式 G6



嵌合式 G7

日輪折板馳2型屋根

製品コード欄の表記 【0】＝数字のゼロ、【O】＝アルファベットのオー

■日輪折板馳2型

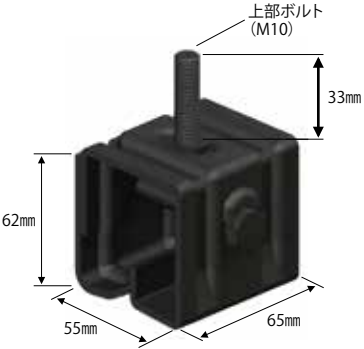
表面処理(本体)	製品コード	重量(kg)	本体入数
高耐食性めっき銅板+黒塗装	SD1BC00E0	0.45	20

付属品:ナット類(ラックは付属しておりません。)

締付トルク/ソーラー金具本体 29.4N・m

■許容荷重(kN)

引張	1.13
圧縮	2.71
滑り	0.42
側圧	0.81



ハゼ式D (ハゼV) 屋根

製品コード欄の表記 【0】＝数字のゼロ、【O】＝アルファベットのオー

■ハゼ式D (ハゼV)

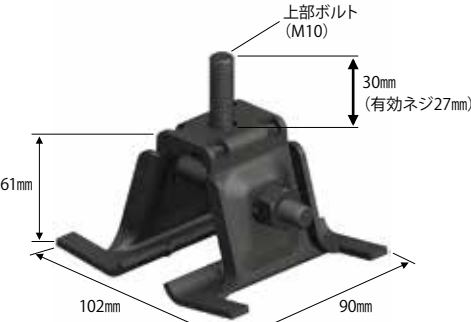
表面処理(本体)	製品コード	重量(kg)	本体入数
溶融亜鉛めっき+黒塗装	SA4EC00EQ	0.40	40

付属品:ナット類(ラックは付属しておりません。)

締付トルク/ソーラー金具本体 29.4N・m

■許容荷重(kN)

引張	0.90
圧縮	2.77
滑り	0.36
側圧	0.30



三晃式瓦棒葺屋根 (巾33・35mm)

製品コード欄の表記 【0】＝数字のゼロ、【O】＝アルファベットのオー

■三晃式瓦棒葺 (巾33・35mm) 用ソーラー金具

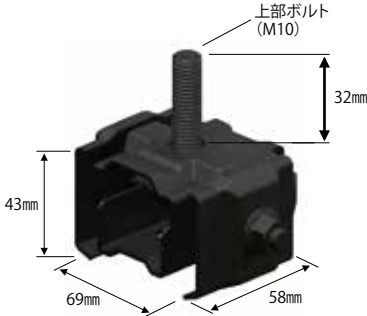
表面処理(本体)	上部ボルト仕様
高耐食性めっき銅板+黒塗装	六角M10×35

製品コード	重量(kg)	本体入数
SE1BC00E0	0.25	40

締付トルク/ソーラー金具本体 20.0～25.0N・m

■許容荷重(kN)

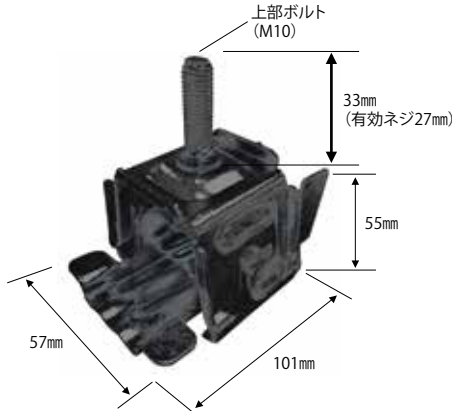
引張	0.66
圧縮	1.47
滑り	0.83
側圧	0.41



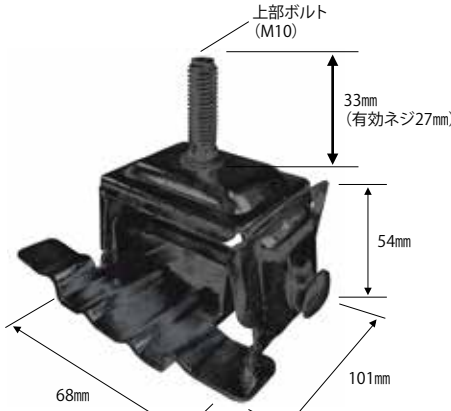
その他瓦棒葺屋根用ソーラー金具

適合屋根	表面処理(本体)	上部ボルト仕様	製品コード	重量(kg)	本体入数
丸ハゼ式瓦棒葺 (巾35mm)	溶融亜鉛めっき+黒塗装	カシメM10×35	別途お問い合わせください	0.30	60
林式瓦棒葺 (巾45mm)	溶融亜鉛めっき+黒塗装	カシメM10×35	別途お問い合わせください	0.32	60
林式瓦棒葺 (巾55mm)	溶融亜鉛めっき+黒塗装	カシメM10×35	別途お問い合わせください	0.36	50
瓦棒400	溶融亜鉛めっき+黒塗装	根角M10×25 (出20)	別途お問い合わせください	1.10	20

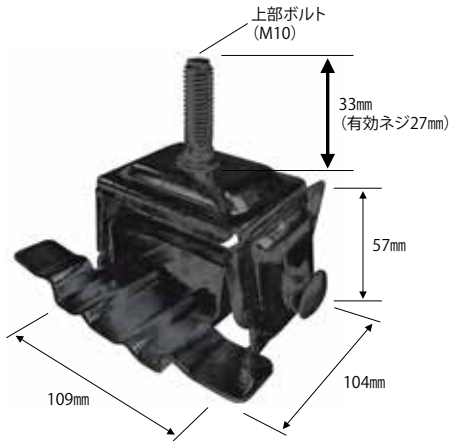
付属品:ナット類 (ラックは付属しておりません)



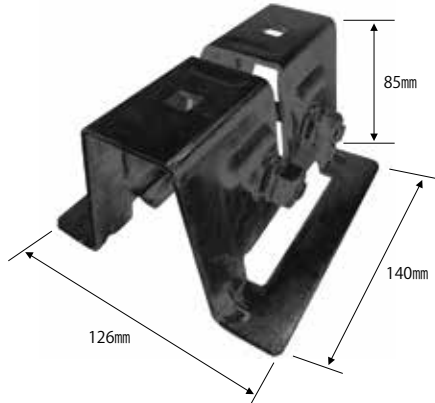
丸ハゼ式瓦棒葺 (巾35mm)



林式瓦棒葺 (巾45mm)



林式瓦棒葺 (巾55mm)



瓦棒400

■許容荷重(kN)

	丸ハゼ式瓦棒葺 (巾35mm)	林式瓦棒葺 (巾45mm)	林式瓦棒葺 (巾55mm)	瓦棒400
引張	0.74	1.85	1.27	0.67
圧縮	2.65	3.40	2.94	3.57
滑り	0.83	0.37	0.39	0.35
側圧	0.50	0.35	0.29	0.42

締付トルク/ 締付トルク/ソーラー金具本体
・丸ハゼ式瓦棒葺 (巾35mm)、
林式瓦棒葺 (巾55mm) : 15.0～20.0N・m
・林式瓦棒葺 (巾45mm) : 18.0～22.0N・m
・瓦棒400 : 35.0～40.0N・m

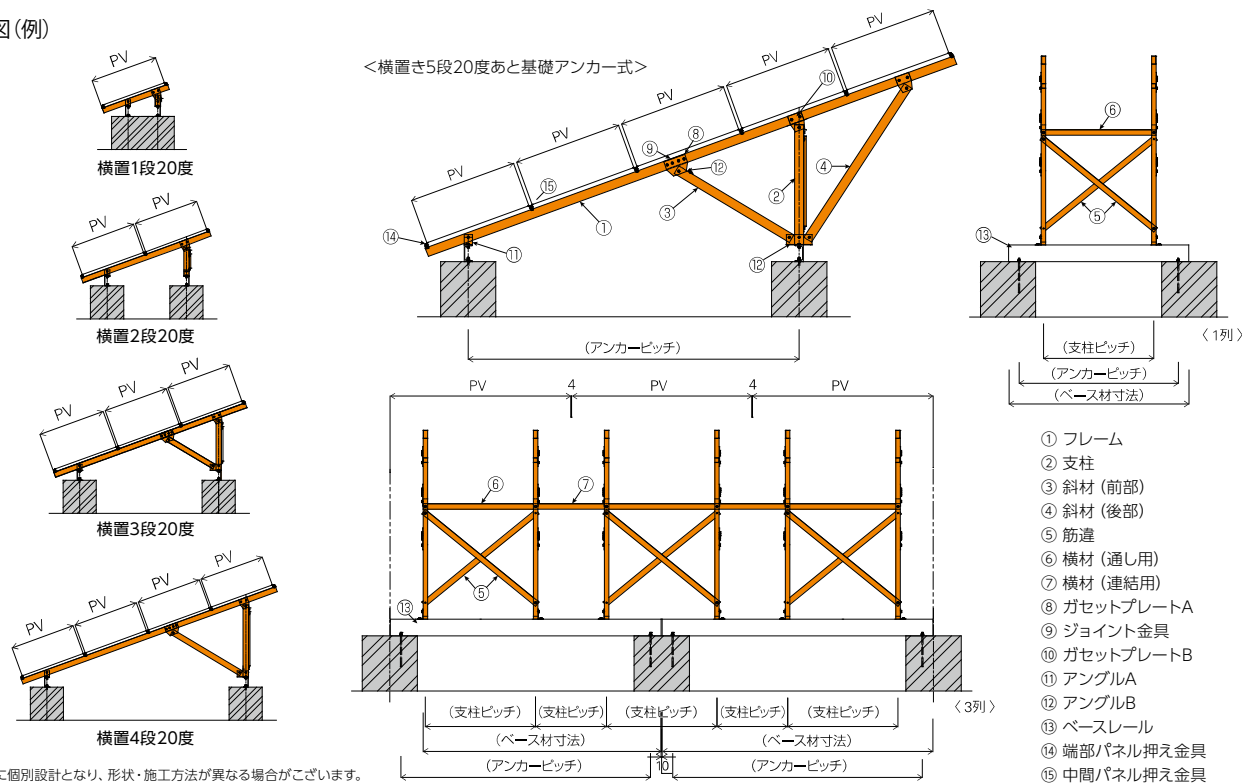
陸屋根施工

施工性と高強度を 提案する陸屋根架台

- ・設置高さ、環境に応じて独自の設計技術で敷地条件に最適な強度の架台を提供。
- ・各種太陽光モジュールに対応。
- ・公共工事にも適用。実績も十分です。



■製品図(例)



■施工手順



ベースレールフレーム付支柱を取付けます。



プレースを取付けます。



端部押え金具を取付け、1段目のモジュールを取付けます。

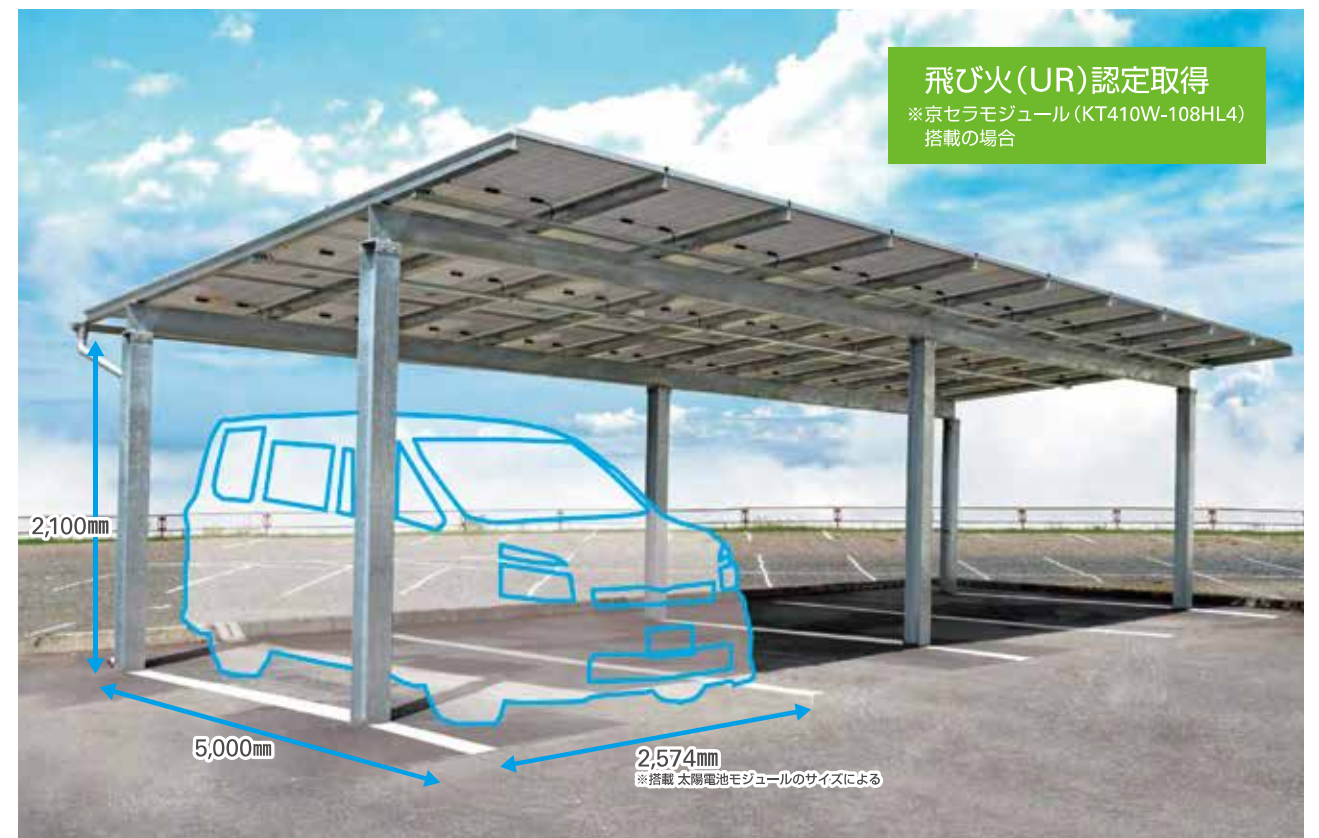


中間押え金具を取付け、2段目以降のモジュールを取付けていきます。

ソーラーカーポート・垂直架台

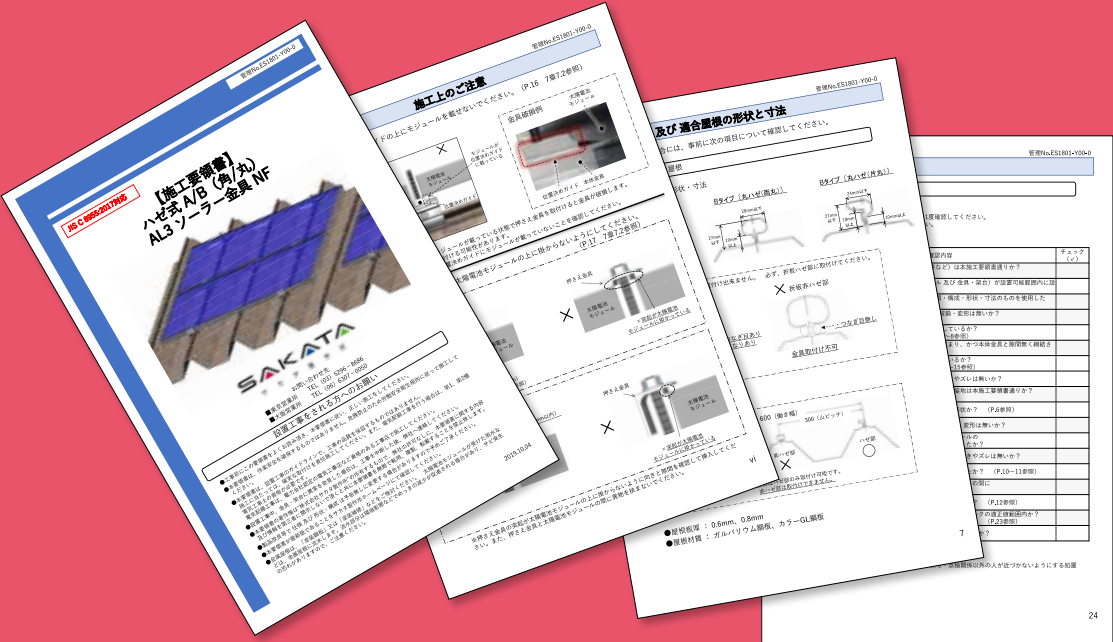
お客様のニーズに合わせ 架台の設計検討を承ります

- ・受注生産品となります、詳細は担当者へお問合せください。
- ・弊社では設置工事の請負はご対応しておりません。



関連商品

おすすめ製品・全工法共通事項・ご使用上の注意



施工要領書のご案内

当社ではお客様のニーズに対応するために、
ソーラー金具以外のラインナップも豊富に取り揃えています。
「こんなモノがあったらいいな」「特注品を依頼したいがどうすればいい？」
と言ったお困り事もサカタ製作所におまかせください。

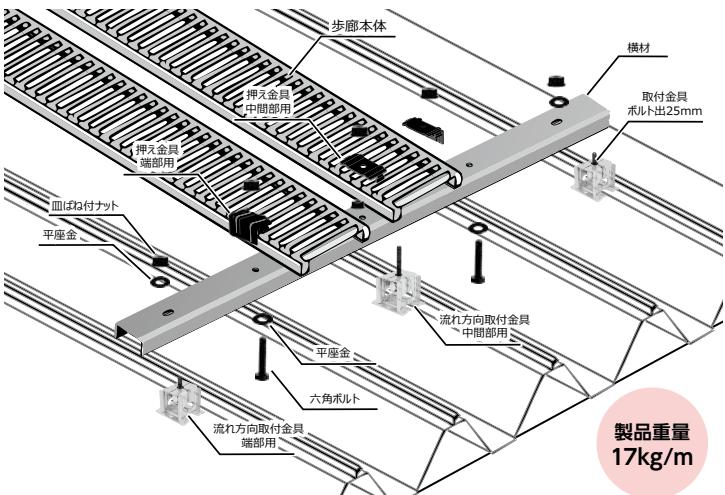
折板屋根上 歩廊設置ユニット

歩きにくい折板屋根上へ安全に移動できる歩廊を設置できます

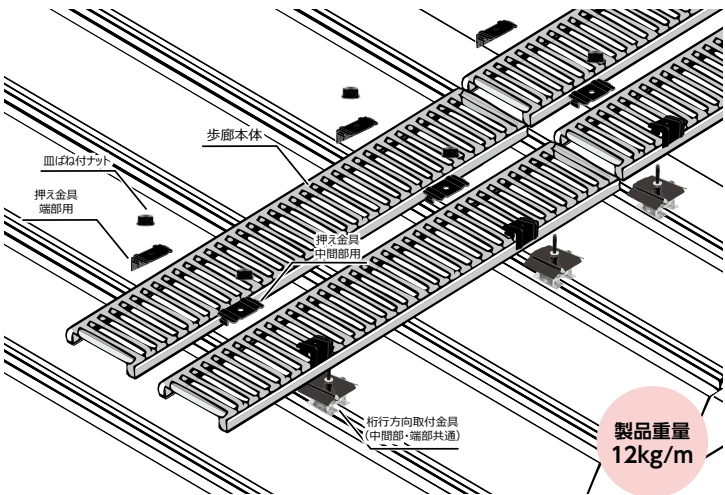
詳細は担当者へお問合せください。



流れ方向設置構成



桁行方向設置構成



幅250mmの歩廊本体2枚並べです。



ハゼ式折板

立平葺

重ね式折板・
P×P/PV・DOPANE

嵌合式折板・
ハゼ嵌合式

日輪折板施2型・
ハゼ式D

瓦葺葺

ラック工法

特注架台

関連商品

サビ取りブラシ ブラシ交換タイプ M8・M10

製品コード欄の表記 【0】＝数字のゼロ、【o】＝アルファベットのオー



製品タイプ	製品コード	数量
サビ取りブラシソケット M8・M10 ※お届け時はM8ブラシが本体に装着されています。 ※付属品としてM10ブラシが同梱されています。	0V0003C	1
M6用ブラシ (替えブラシ) ※ブラシは各サイズにつき1枚使用します。	0V0009	1
M8用ブラシ (替えブラシ) ※ブラシは各サイズにつき1枚使用します。 ※5/16インチサイズにも使用できます。	0V0007	1
M10用ブラシ (替えブラシ) ※ブラシは各サイズにつき1枚使用します。 ※3/8インチサイズにも使用できます。	0V0008	1

ソーラーキャリー

屋根の上でソーラーパネルをラクラク移動

70kgくらいまでの荷物なら1人でスムーズに移動できます。



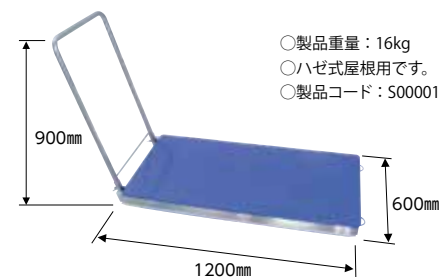
平行移動もできます。
※引っ張り紐は付属していません。



取付資材も運べます。



取手がはずれるので
持ち運びラクラク



○製品重量：16kg
○ハゼ式屋根用です。
○製品コード：S00001

【使用上・安全上の注意】

※推奨積載重量70kg以下。※同じ位置での繰り返し移動、又は積載重量が大きくなると、屋根（ハゼ部）をキズつける可能性があります。※屋根にキズがついた場合は、タッチアップによる補修を推奨致します。※前方のフックを利用して荷締めバンド等で荷物を固定して運搬してください。※ソーラーキャリーご使用時は足元に注意し、転倒しないように充分確認しながら歩行してください。※屋根勾配で滑り出す恐れがある場合、ご使用を控えてください。

ガッチャー

ソーラー金具を正しく設置できない時に！

ハゼ締め形状は施工時の工具によって異なります。

当社の「ガッチャー」はハゼ締め形状を整え、正しい取り付けをお助けします。



当社では、ハゼ締め工具の「ガッチャー」、「電動シーマ」も製造しており、屋根工事業様に広くご使用頂いております。

※詳細は担当までお問い合わせください。
※ご使用の際は、あらかじめ施工主様、又はお施主様よりご承諾頂くことをお勧め致します。

レンタル
できます！



架空配線架台

建屋が分かれている時に簡単に配線ができます



ケーブルを壁や梁に
固定できない場合に

【特長1】

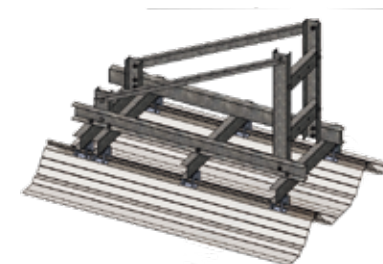
工場・倉庫に多く採用されているハゼ折板に対応しています。（その他折板屋根に関してもご相談ください）

【特長2】

屋根上に簡単に設置できるのでコスト削減・設置工機短縮に貢献します。

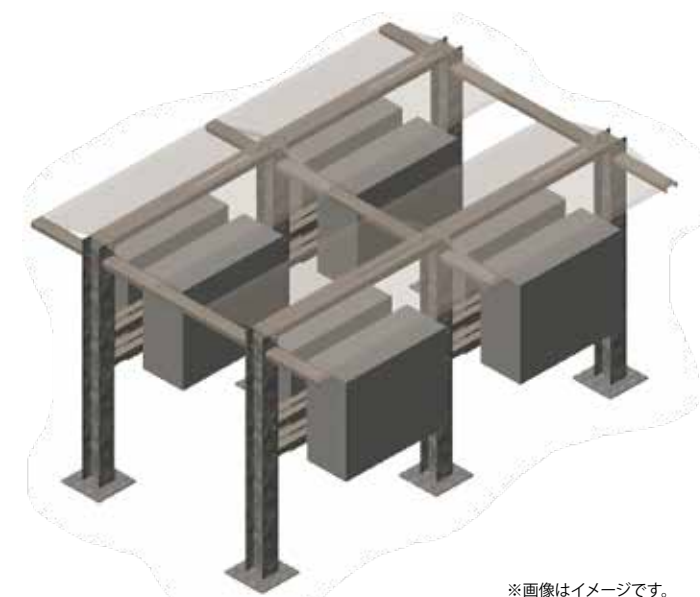
【特長3】

各種ケーブルサイズに対応します。（ケーブルサイズについては別途ご相談ください。一部サイズでは対応不可となる場合があります）



※画像はイメージです。

パワコン架台



※画像はイメージです。

地上設置用パワコン架台の
依頼先がわからないときに

追加・新設でパワコンを
どこに設置しようか悩むときに

【特長1】

各メーカーのパワーコンディショナーに対応可能です。

【特長2】

架台背面設置や地上への独立設置も検討可能です。

全工法共通事項

全工法共通事項

◇設置条件および環境

- ❶JIS C 8955：2017／太陽電池アレイ用支持物の設計用荷重算出方法に準じています。
- ❷屋根・建物・基礎（アンカーボルト等を含む）の強度・耐久性および施工納まりなどの状態については考慮しておらず、弊社検討範囲に含まれておりません。お客様（建築設計サイド）にて屋根・建物が長期的に耐風圧・耐積雪・耐震・鉛直荷重などの構造性能を満たし、アレイ（ソーラーパネルおよび金具・架台）を積載しても問題ないこと、および屋根の耐久性や施工納まりなどの状態に問題がないことをご確認ください。
- ❸ソーラーパネル1長辺あたりの固定点数および各設置条件は、金具・架台の単体での強度でみており、屋根・建物・基礎（アンカーボルト等を含む）・ソーラーパネルの強度と金具固定位置は考慮しておりません。
ソーラーパネルの設置向きと固定点数および固定位置は、ソーラーパネルメーカーの設置（配置）仕様（条件）に準拠した上で、屋根・建物・基礎（アンカーボルト等を含む）・ソーラーパネルの強度および耐久性などを考慮し、お客様にて決定してください。また、ソーラーパネルメーカーにてソーラーパネル間の隙間の指定がある場合は、その指定に準拠してください。
ソーラーパネル1長辺あたり4点固定以上の場合は、ソーラーパネル長辺寸法と桁行方向の金具取付けピッチを考慮し、ソーラーパネルメーカーの設置（配置）仕様（条件）に準拠した上で、ソーラーパネル間の隙間やソーラーパネルへの金具の固定位置を、お客様にて調整・決定してください。
- ❹折板（金属）屋根のハゼ締めなどの施工納まり形状・寸法等の状態は、屋根メーカー仕様の形状・寸法の屋根と実際の現場の屋根が必ず一致するとは限りません。そのため、ハゼ締めなどの施工状態によっては金具の取付けができない場合があります。（⇒P30「ガッチャー」のご案内をご参照ください。）
- ❺各設置条件・環境は、金具・架台を設置する屋根などがその金具の適合する屋根形状・寸法であることが前提です。記載の各金具の許容荷重値は、最大値です。ソーラーパネルおよび金具・架台を設置する場所の設置条件・環境によっては、想定を超える荷重が加わる場合があるので、各金具の許容荷重値に安全率を考慮し余裕をみた上でお客様にて判断し、ご使用ください。
- ❻ソーラーパネル上面に積もった雪以外の積雪荷重（滑雪荷重：アレイ上部端部～屋根の頂部（棟）、分割されたアレイ間、アレイ下部端部～屋根の軒先、雪庇など）は考慮しておりません。雪の性状や固結状況により雪塊の雪質・重量が変わりますのでご注意ください。
- ❼積雪地域で設置する場合は、アレイが滑雪荷重や雪庇や屋根からの落雪などにより滑落・引きずられる事が無い様、またソーラーパネル裏面から積雪荷重が加わらない様に、アレイへの積雪荷重を減らすレイアウト（ソーラーパネル設置位置）や固定位置・隙間の検討および雪止金具やアングルを取付けるなどの滑落・滑雪・雪止対策および除雪などを行ってください。
- ❽レイアウトは、お客様にて所管監督官庁又は、各都道府県にご相談・確認の上、「太陽光発電設備に係る防火安全対策の指導基準」に準拠して決定することを推奨致します。また、防火性が必要とされる場合は、十分な耐火性を有している屋根上に設置してください。

※その他の設置条件については、各屋根ごと、および工法ごとの設置条件を参照してください。

◇設置不可条件および環境

- 金具・架台を設置する場所が下記の条件および環境の場合は、設置不可です。
- ❶各工法の設置可能な条件および屋根設置について「ソーラーパネル設置可能範囲」および全工法共通事項の設置条件および環境の範囲外と「JIS C 8955：2017」の適用範囲外の場所および条件。
- ❷地上高が60mを超える場所に設置する場合。
- ❸海岸より飛散した水しぶきや海水などが直接かかるもしくは、強風時に海水がかかる場所。
- ❹水上・水中・湿地帯・水はけが著しく悪く長期間の雨水などが滞留するなど、常に水がかかる場所。

全工法共通事項

- ❶大気汚染・排煙・油蒸気又は腐食性ガス・酸性雨を著しく受ける場所。
- ❷砂（黄砂）・塵埃・火山灰・すすなどが大量にかかる場所。
- ❸腐食性物質が存在する場所。
- ❹常に振動・衝撃が発生している場所。もしくは、時折激しい振動・衝撃が発生している場所。
- ❺火気のある場所。
- ❻金属屋根の場合、屋根材の材質が鋼製以外の屋根。又はめっきや塗装などが施されていない屋根。
- ❼極端な円弧型、湾曲型の屋根。
- ❽折板（屋根）自体が老朽化している、又は腐食している屋根。
- ❾設置する屋根・建物などの構造物側に何らかの瑕疵が認められる場合、屋根材（折板・吊子・固定釘など）や屋根下地（野地板・垂木・母屋など）に性能低下を及ぼす腐食などの劣化や不良がある場合。
- ❿日本国外の場所に設置する場合。

◇積雪荷重

- ❶建築基準法施行令 第86条（第2項、第3項）の規定に基づき定められる多雪区域・積雪の単位荷重・垂直積雪量は、設置場所を管轄している特定行政庁の規則内容を確認頂き、より安全となる値を採用してください。
- ❷多雪区域・積雪の単位荷重・垂直積雪量は、特定行政庁の判断により区域・数値が変更・更新されることがありますので、施工前に必ず確認してください。

◇塩害地域

- ❶アルミ製金具・架台
通常品で設置可能です。ただし、金具に海岸より飛散した水しぶきや海水などが直接かかる、もしくは強風時に海水がかかる場所は設置不可です。
- ❷鋼製金具・架台（高耐食性めっき鋼板など）
海岸線より水平距離で2kmを目安として、塗装仕様品を推奨いたします。また、下記の地域ではそれぞれ海岸線からの水平距離を目安として塗装仕様品を推奨いたします。ただし、金具・架台に海岸より飛散した水しぶきや海水などが直接かかる、もしくは強風時に海水がかかる場所は設置不可です。

- ・海岸～全域：沖縄・離島（北海道・本州・四国・九州を除く、すべての島）
- ・海岸～1km：瀬戸内海（本州：兵庫県明石市～広島県大竹市、四国：徳島県鳴門市～愛媛県伊予市）
- ・海岸～7km：日本海側北部（北海道：稚内市～松前町、本州：青森県東通村～福井県大飯郡高浜町）

※あくまでも目安であり、弊社製品に対して塩害による腐食・錆などや、荷重性能・アースの導通等の性能を保証するものではありません。

◇屋根設置について

- ❶包み、採光部分（樹脂製屋根など）には設置しないでください。
- ❷屋根設置では、ソーラーパネル間に適度なクリアランス（隙間）を確保し、設置工事や点検・メンテナンス作業などのための経路を確保するよう、レイアウト（ソーラーパネル設置位置）を考慮してください。
- ❸金具・架台に避雷設備を直接取付けしないでください。
- ❹アレイは設置可能範囲内なるべく棟側に寄せて配置し、軒先側には配置しないレイアウト（ソーラーパネル設置位置）を推奨致します。

ご使用上の注意

安全を確保する設置工事をして頂くために

絵表示について



警告 人が死亡又は重症を負う恐れがある内容を示しています。



記号は、しなければならないことを表しています。



●本カタログに記載の製品はソーラーパネル設置用金具・架台です。
それ以外の用途にはご使用にならないでください。



●工事中、完成引き渡し後のいずれにおいても、移設・再設置する場合は次の点をお守りください。

- ・取り外した「ソーラー金具」は再利用せずに、新品をご使用ください。
- ・取り外した「架台」に著しい傷・腐食・破損・変形など、取付に問題がないことを確認し、泥などの付着物を除去した後にご使用ください。
- ・金具がうまく取り付けられない場合は、ガッチャーをお試しください。



締め付けトルクの管理について

- ・点検時に締め付けトルクを確認すると、トルク値が若干少なくなっていることがあります。これは、ネジの「初期ゆるみ」によるものですが、ボルトナットの「マーキング」がずれる「回転ゆるみ」が起こっていないければ、締結力に大きな影響はございません。また、トルクレンチの個体差による影響もありますので、より正確に確認する場合は、施工時と同じトルクレンチのご使用をお勧め致します。



保管方法とタッチアップ（補修）について

- ・梱包ダンボールを水濡れさせないように注意してお取扱ください。屋外の移動・保管時は、カバーをかける、全面をラップで巻くなどの処置を行ってください。また、防水シートなどのカバーを掛けた場合、カバーが飛ばされないようにしてください。
- ・梱包ダンボールが濡れた場合、端面初期さび（高耐食性めっき鋼板など）や白さび（めっき面）が発生し、美観が損なわれます。なお、端面初期さびおよびめっき面の白さびは、耐食性への影響はありません。
- ・下記の厳しい特殊な使用環境では早期に錆が発生するケースがありますので、ご注意ください。

腐食促進因子が混入する環境（火山灰、酸性雨、産業廃棄物、排煙、アンモニアガス等ガス類、薬品類など）

- ・施工時、金具・架台のめっき、又は塗装に剥離や傷が生じた場合は、金具・架台の表面処理に合わせたそれぞれの塗料でタッチアップを施し、補修してください。
- ・金具に錆が発生した場合、部分的な錆であれば錆止め塗料、錆転換塗料が有効です。
- ・屋根上は過酷な環境です。長期のご使用には、経年による変化に対して、適切な保全・修繕が肝要です。不具合を放置すると被害が拡大する恐れがあります。計画的な予防保全と点検をお願いします。

会社情報



沿革

1951（昭和26）年	新潟県三条市島田で創業。鉋（カンナ）を製造。	2004（平成16）年	製造機能を与板工場に集約。
1963（昭和38）年	雨樋受金具に代表される建築金具の製造開始。	2005（平成17）年	本社機能を与板工場に移す。
1965（昭和40）年	火打ち金具の製造開始。	2008（平成20）年	太陽光関連事業への取組みを強化。
1973（昭和48）年	法人設立。社名を有限会社サカタ製作所とする。 資本金250万円 金属製折板屋根構成部品の製造を始める。	2013（平成25）年	国際標準規格ISO9001：2004、 ISO14001：2004を取得。
1989（平成元）年	新潟県三島郡与板町（現・長岡市）に工場を設立。	2014（平成26）年	阿賀野工場竣工。
1990（平成2）年	株式会社サカタ製作所に改組。	2017（平成29）年	国際標準規格ISO9001：2015、 ISO14001：2015を取得。
1993（平成5）年	大阪営業所開設。	2019（令和元）年	東京営業所を東京支店へ改称。
1998（平成10）年	東京営業所開設。	2020（令和2）年	株式会社ヤマテック（東京都）を完全子会社化。
2003（平成15）年	国際標準規格ISO9001：2000を取得。 （三条本社、与板工場）		

会社概要

社 名	株式会社サカタ製作所	事 業 所	
代 表 者	代表取締役社長 坂田 匠	【本 社】	
創 業	昭和26年（1951年）9月1日	〒940-2403	
設 立	昭和48年（1973年）1月24日	新潟県長岡市与板町本与板45番地	
資 本 金	1,320万円	TEL：0258-72-0072 FAX：0258-72-0051	
従業員数	178名（2024年12月）	【東 京 支 店】	
事業内容	金属製折板屋根構成部品の設計・製造・販売、 住宅用建築金物の設計・製造・販売および金型の設計・製造 太陽光パネル取付金具・架台の設計・製造・販売 （㈱日本金属屋根協会 賛助会員） （（一社）太陽光発電協会 会員）	〒101-0041	
		東京都千代田区神田須田町1丁目28番地 VORT神田Ⅲ3階	
		TEL：03-5296-8686 FAX：03-5297-8055	
		【大阪営業所】	
		〒532-0011	
		大阪府大阪市淀川区西中島5丁目11番10号 第三中島ビル4階	
		TEL：06-6307-0050 FAX：06-6307-0110	